明治三十八年七月廿六日 第三種郵便物認可
明治四十年九月一日 日曜日
滿洲日報 第六百二十號 (一)

滿洲日報

時刻表

始政紀念祭

滿洲日報

今九月一日は都督府始政紀念日に丁り、大連に於ては盛大なる祝賀會を開く由。吾人は關山杳々たる天の一方に在りて、躬親ら其盛莚に列すると能はされども、遙に之を聞いて俯仰今昔、殆と感極りて哭せんと欲する者あり。回顧すれは、日清戰役終決の後、遼東半島は一旦我が領有に歸しゝと雖も、突然三國の干涉に遇ひ、遂に還遼の詔の渙發となり、吾人臣民誰か此の謙讓の聖旨を拜して感奮悲泣せさりし者かある、泉下の忠魂孰か此の哀痛の大詔を聽きて、嗚咽噓唏せさりし者あらん哉、即ち九重に於せられては減食撤樂となり、草莽に在りては臥薪嘗膽となれり。夫れ本邦が遼東一角の地に眷戀せし者は、侵略の野心ありて茲に據りて以て北京朝廷を威嚇し、次第に四百餘州を平呑せんと欲せしにあらず、唯た此天險の地を踞守して、北は露人を牽制し、南は清國を保全し、以て東亞の平和を永遠に保持せんが爲めなりき。然るに遼東戰死者の墓木未た拱ならず、還遼勸告書の墨痕未た乾かさるに、露國は靦然として自ら半島を租借し、旅順に重城を築けり。此と先後して、獨逸は膠州灣を奪ひ、英國は威海衛に據り、佛國亦た廣州灣を占有するに至り、清國は朝に一城を失ひ、夕に一灣を褫はれ、爪分の聲は世界万口に傳はり、其危きと風前の孤燈に過くると萬々なりき。倘しも清國にして其獨立を失はんか、我日本と雖も亦た唇亡齒寒の感なきと能はす。而して亞州の黃種は盡く臣妾となり、長く無籍無告の亡國氏に化し了せん。嗟呼危かりき。吾人今にして當時を追懷し、猶膚に粟を生するを覺ふ。然とも幸なる哉、昊天未た我が黃人を捨てす、日本は舊邦と雖も其命維れ新にして、日露の一戰に彼等を擊破せしや、亞州の運命一轉して、黃人の顏色頓に光輝を生し、我日本は一等國に躍進し、而して十年呑恨の半島を再占し、都督府を建て、民政署を開き、烏兎匆々、已に一年を經過して、今や其紀念日に際せり。嗚呼過去十年間は實に危かりき、痛かりき、能くも斯の如き困難に堪え、難關を破り、終に光輝なる成功の彼岸に達しゝ事の不思議さよ。天は自ら助くる者を助く、天祐は常に自ら助くる者の上に在り。憂患に生きて安樂に死すとは眞に至言なる哉。吾人が今ま此祝賀日に際し、今昔を俯仰し、感極りて泣かんと欲する者は、實に茲に在る也。然ども吾人が半島を得たるの喜は、之を日露戰爭が世界に大教訓を與へたるの喜に比すれは遙に小なるへく、吾人が過去十年間兵事に於ける痛心は、今後商事に於ける苦痛に比すれは、更に小なるべし。日露戰爭は世界に侵略主義の「不可實行」を敎へたり。試に思へ、今日誰か復た支那の分割を夢み、亞人奴隸說を唱ふる者かある。世界は兵革侵略主義より、經濟競爭主義に移れり。現狀維持、門戶開放、機會均沾は世界の聲なり。既に兵事に成功せる我日本は、更に復た商事の競爭にも成功せさるへからさる也。競爭は天演の公則にして、宇宙の在らん限り、生物の存せん限り、此競爭なきと能はす。向上主義は進化學上より見たる道德なり、而して生物をして向上せしむる者は、獨り奮鬪あるのみ。吾人は唯た奮鬪せんのみ。聊か以て祝辭に代ふ。(止戈)

雜報

清國近事

▲滿漢融合と旗人　滿漢融合の上諭に就き八旗の諸老父は終日紛紛たる議論を爲し皆謂く滿人若し漢人と一體となれば則ち滿人素より職業なく勢ひ必らず餓莩とならん宜しく政府に向ひて滿人の獨立保存を力爭すべしと稱し居れり故に茶樓酒肆官署廳等の處此說を聞かざるなし特に旗人中の志士文時泉志仲悌諸氏の如きは設法維持兩全の策を思ひ近日內に崇實學堂第五學堂に同志を集め會議を開く筈なり

▲倫貝子と海軍復興　倫貝子は先日海軍復興の辦法十三條を條議したるが議論剴切なるを以て政府王大臣等は特別巨款を籌措し專ら組織一切に備ふることを議し尙ほ詳細は張總督の着京を待つて決議する由

▲京張鐵路と巡警學生　京張鉄路將さに竣成せんとするに就き張家口都統より此程民政部に向ひ鐵路開通の上は是非巡警設立の必要あるべきに就き願くは部より學堂卒業の學員を派遣されたしと咨商し來れりと

▲軍諮府正使の就任　新任正使馮國璋氏は去二十二日請假の期滿了せるを以て就任し鐵尙書と現在應辦の事項を商議したりと云ふ

▲李公使と留學事務　新任日本公使李家駒氏は前に學部に在て辦公熱心にして且つ幹練なりと稱せられつゝありたるを以て赴任の後は留日學生事務を兼任せしめ以て學界を維持し人才を造就せしむる由

▲御史と新聞紙條例　俾御史は此程新聞紙條例を訂立すべきことを條奏せしが政府は民政部に充分責任を以て此事を辦理すべきことを命したり

▲審計院速設の論催　政府諸公が過日兩宮に謁見の時御下問ありたる處に依れば立憲政体並に新政擧辦のことは財政整頓を以て要政となす度支部は全國財政の監督を爲さしむるため預算審計院を設立して迅速に其一切の章程を妥議して詳細に奏明すべしとのことを以てせられたるが諸公の說に依れば那桐氏を院長に推すべしと云ふ

▲奉天參贊裁撤說　奉天參贊錢幹臣は豫て徐總督と意見の合はざる所ありて曾て書面を以て某樞府に參贊を裁撤するか或は別人を以て之に任ぜんことを請ひたりしに近頃徐總督は東省の官制本と試辦に係かるものにして參贊の補欠毫も關係なければ之を裁撤されたしと奏請したり錢參贊は民政部丞堂の本任に復歸すべし

▲按察使更調說　新任福建按察使尙其享と河南按察使袁大化と交代すべしとの說あり

▲趙次帥修墓の請假　新任四川總督趙爾巽氏は去廿三日頃發程の都合なりしか其後修墓のため籍に回るを以て軍機大臣に向ひ請假の代奏を申出でたるが業に允准を經たるを以て故里山東に歸り修墓の上赴任する筈

▲兩廣總督の出發　河南巡撫張人駿氏は今回兩廣總督に陞任し去二十八日頃河南より漢口に出で上海に至り滊船にて廣東に到り接印する筈なるが河南鐵道巡警總辦楊榮泰副戎をも廣東に調したり其後任には袁大化方伯より馬開玉觀察を推選任命したり

▲佛國銀行の擴張　在北京の滙理銀行は今回滿洲に分行を設立する筈なり

▲革命雜誌出版　革命黨員は近來佛國巴里に於て一種の雜誌を發行し革命說を皷吹し居る由にて該雜誌は近程政府に送付し來り

▲陸軍部と軍人服制　京外海陸軍人服裝を一定して參差を免かるべしとの御史王金鎔の奏請に基き陸軍部は各軍官辦兵勇の軍裝に就き永く以て制と爲し任意に異樣の軍衣を服用すべからざることを議定封奏せしに顧の通り裁可せられたり

▲庫倫鑛權と露人　庫倫辦事大臣延祉氏は庫屬の礦產豐富にして資本を集めて開掘せんと欲するも礦學に精通し之か指導を爲す可き人に乏しければ露國人を延聘し庫倫礦務監督に任ずへき旨の奏請を行へりと

●新聞代定價　一枚四錢　一ケ月前金八十錢　半ケ年仝四圓八十錢　一ケ年仝九圓六十錢
●廣告料　五號活字十九字詰一行一圓五十錢　特別廣告仝　壹圓
●本報目價　一張四分　一月八角　半年四元八角　全年九元六角
●告白刊例　一行五號十九字一日每行五角　長期價目面議
發行所　營口南本街　滿洲日報社　電話　編輯室一一一　事務室一二九
安東縣新市街　滿洲日報社出張所
遼陽停車場前六一二　滿洲日報社支局
奉天大東門內　滿洲日報社支局
全十間房　滿洲日報社出張所
鐵嶺火神廟街　滿洲日報社支局
公主嶺支那町　滿洲日報社出張所
孟家屯驛前　滿洲日報社支局
大連信濃町　滿洲日報社支局

●日米事件と獨逸

日米事件に關して獨乙諸新聞は盛んに評論をなせりその重なるものは左の如し
キヨルニッシエ、ツアイツング曰く
朝鮮密使事件の起るや日本は電擊的急速を以て一切を始末せり、之れ日本の生存問題なりしなれはなり、之れに反して米國との葛藤に就ては日本人の權利消長に關すると云ひながら日本生存の大問題にあらす故に解決を急かす米國側に於ても十六隻の軍艦派遣を云爲するも之れ亦た立消說を產みたるを見れは米國政府も眞面目の解決を急かさるなり日米事件は來りたる如く去るへきのみ云々
同紙は別に評論して曰く
米國艦隊派遣に關して各種の說は傳はるも兎に角米國として日本に備ふの心丈けは何人にも讀るへく米國政府は注意は平和の母なりとの格言を守るは諒すへし日本側より見れは米國と大戰を交て勝利を得るも菲島を手に入るゝ位か關の山にして斯かる報酬は大戰の結果として日本に取りて難有からす日本の海軍は米國の之れに優れりとするも日米戰大關係は比較すへくもあらす、故に日本は米國か一考する時に十考するの要あり日本人か加州にて白人と同一權利を得んとするは當然なるも日本の政治家は如上の利害と共に戰後に就ての日米間の心理的關係を知るか故に日本人の憤慨を防止するに勉むるや論を俟たす假りに日本政府の反對黨か朝に在つて對米政策の強硬を說法するも自から內閣を作らは現內閣と同一の步調を取るへし況んや日本の近かき將來は東にも南にもあらす大問題は支那に存せり日本は支那の指導者を以て自任するも清國は日本を以て急速なる成り上りもの丶如く輕侮する傾向あるか故に日本に取りて支那啓發は容易ならぬ問題にして而かも日本は此の難事に當らさるへからさる境遇にあり支那を日本の勢力範圍に移すは米國と戰ひて菲島を獲得するより有利なるか手の中の雀を捨てゝ屋上の鳩を追ふの愚は爲さす云々

●鴨綠江問題交涉難

北京に於ける鴨綠江森林共同經營問題の交涉は本月七日阿部代理公使と那桐氏との間に第二回の會見を爲したるも既報の如く清國の提案か我國の意見と甚たしく懸隔せる爲め何等の進行をも見る能はすして別れたるまゝ第三回の會見は其の期日すら未た確定せす尤も阿部代理公使は那桐氏に向ひ清國にして妥協の誠意あらは今少しく讓步せんとを要す然らすんは幾回會見を重ぬるも殆んと無益なるへしとの意を以て反省を促かしたる由なれは清國政府自ら其の提案を枉け進んて會見を求め來らは兎も角然らされは來月初旬を以て歸任すへき林公使北京着の上ならては次回の會見は開かれさるへしと

營口名士譚

第四　白雲洞玄々居士談(續き)
加藤總領事と徐總督……
防穀令……

萩原の後任か、うん、天津の加藤に極つて居るよ加藤と云へば、恁ゆう談がある、倦か北京であつたろう、加藤等が徐世昌を饗應席上で、加藤はあゝ云ふ善い男だから、何氣なく、徐世昌に向ひ閣下は今度東三省總督として御赴任になるが、西も東も敵國中なれば御要心と好意の積りで、遣つ附けた、處が君、駟も舌に及はすて、徐氏は勃然と色を作して自國の領分內に赴任するのに敵國とはと圍き込んで、一座は白氣渡つた加藤は此は失策たと思ふたが、流石は加藤だ、何に敵國とは敵手の意味、四面皆閣下の敵手なれはと繕ふたので徐氏の顏は解けたが解けやらぬは腹の中で、切角の饗應も滅ちや滅ちやで徐氏は匇々歸つて仕舞た事があるよ、そうだ君、外交の辭令とは此處だ、支那人には仲々浮つかり物が言へぬよ、それじや、加藤領事は徐總督と折合が惡かろて、馬鹿を言ひ給ふな、徐氏も堂々たる東三省の總督だ、其下には唐紹儀の樣な外交老錬家も居る、又た加藤だて、仲々才物だから、其な事がある者か……防穀令か、此は面白い問題よ、價値論とか、需要供給論とか持出ぬても、防穀令の愚は分ツて居るよ、日本政府の主張は諸新聞にも在る通りて理否明白た、殊に萩原領事の北滿洲農業衰退を根據とせる忠告の如きは尤も聽くべきの價があるよ、防穀令を東三省丈け解除させたら宜う、防穀令は愚策だから、支那全体より撤去せしめよと、君の論が、馬鹿を言ひ給ふな、支那は大國だ國民經濟情態は複雜で、書生の空論では往ぬよ、若し支那全体に防穀令を解いたら、輸入もあろう輸出もあろうが、先づ穀價が騰貴して賃銀が增すよ、賃銀增加は宜いが、四億万中賃銀昻騰を喜ぶ者より米の高いのを困まる者が遙か多いよ、其こそ、直に大騷動が起る去年長江筋水害不作の爲め上海附近米價騰貴して米屋の打壞やら、穀船の奪略やら起り、不逞遊食の惡徒共は、時こそ至れと騷ぎ出した、だから防穀令は無論解除せねばならぬが、今少し支那の政事と經濟に秩序の附く迄待つか宜う、居士も今研究中だ、四五日したら來給へ具体的の意見を聽そう君居士の談話を新聞に書くて、よし給へ、自他に益なしだ、何に居士の本名を書ねば信用がないて、其は困る、それじや、玄々居士と題し給へ……」

次は　俳家　酒井野梅君

快男兒

第五十五回　渡邊默禪

峯內の成行は姑く後に廻し　是より一つの疑問となれるお琴の繼母菊代のことを說くへし、讀者の胸に判斷されたる所と、事實果して符合するや否やを試し見らるゝも一興なるへきか、偖て東京下谷池の端なる會津の藩中屋敷に、謹愼差控中なる老臣田母野兵庫は、秋月帶刀の口より棟庵菊代の事柄を聞いていたく怪しみ、其夜床に入りたる後も種々と考へたるか、宛ら難かしき謎をかけられたる樣にて、如何に智惠袋を絞りてもその眞相を究め得さるに、翌日の朝同じ屋敷に居合せたる、舊御留守居役の出淵幾之進の若黨勘三郞といふを招き、委細を申し含めて探索方を命したるかこの勘三郞は主人出淵幾之進と共に長らく江戶に詰め居り(舊幕時代各藩より御留守居と稱する外交官を江戶の屋敷に派遣し置き專ら交際のことに當らしめたるは故老の知らるゝ如し)市中を鵜呑に隅から隅まで心得居る男のことゝて、無造作に引受けつゝ直ちに屋敷を立出て、淺草雷神門に至り、錦袋圓吉住安兵衛の店先にズイと入りぬ　勘『許せ　丁『入しやい、お掛けなさい、ヘイ何を上げますか』と丁稚は例の定り文句　勘『イヤ買物てはない、主人は居るか、安兵衛殿は　丁『ヘイ旦那へ御用て……貴君は誰方樣で　勘『會津の出淵の家來、勘三郞だか、在宅ならば一寸逢いたいと申して吳れ　丁『畏まりました暫くお待くださいと奥へ入り　安『オゝ出淵樣の御家來さん、能うこそお出になりました、まアゝゝお掛け下さいまし、誠に如何も久濶て……これ小僧や、お茶を上げろ、それから火鉢の火か消へてる樣だぞ澤山持つて來な、エゝ何て御座いますか、あの旦那はお變りもなく、御機嫌さまて、ヘイ左樣て御坐いますか、承はりますれは御國許も、とう〳〵飛んだことにおなんなすつて、御殿樣から若殿樣まて殘らす東京へお送りになつたさうて御座いますなア、まアお傷はしい何たる世の有樣て……私しも代々お出入をして、御國許へのお土產に土地の名物だからといふので、店の錦袋圓を、例も澤山御買上くださる、大事の御華客樣ては御座いますし、夫に出淵樣は私と同樣に、この骨董かお好きなので何時とはなしに御懇意を戴いては、チヨイ〳〵御屋敷へも伺へば、觀世音に御參詣の節はお立ち寄りも下さる、そんなこんなで厚い御贔負になつたことてすから、實は蔭なから世間の噂を聞いて、淚を飜して居りましたよ早速御機嫌伺ひにも出ます筈でしたが、御謹愼とやらの中へ上るのも無遠慮と、態と控へて居た樣な譯て御座いますから、情願惡からずと旦那へ被仰つて　勘『そんなことは如何ても好いが、エー御主人今日參上したのは外の用てもない、些つとお前にお尋ねいたしたい儀かあるので　安『ヘエー、私しにお尋ねか……何樣ことて御座りますな　勘『アノお手前は何を御承知て御座るか、手前の藩て醫者を渡世にいたす、永井棟庵といふ人を　安『エゝ永井棟庵さん一向に存しません　勘『何知らん、ハテナ』勘三郞は失望の小首を傾け　勘『恰と昨日のことだか時刻は……エー……と左樣、七つ頃てもあつたらう、お手前の店から出た醫者體の者かあつたか、其處の往來て御新造風の女と落合て、夫れから並木町の方へまゐつたとのことだ、誰れか小僧を一人伴に連れてねたと申す、サアそれが長井棟庵といふ手前の尋ねる醫者だ、何と心當りかあるまいか』といはれて安兵衛は腕叉して、暫らく考へ　安『ヘエー、そんなこともありましたか知らんて、如何もこの通り大勢のお客さまか入交り立換り、お買物に入らつしやるとてすから、孰れか如何だか、サツバリ心に止めては置きません、ヘテそれは折角のお尋ねだか、解りかねますなア、店の者に聞いたら倘しや、ヒヨッと覺へて居る者かあるかも知れません……、これ忠八どんや」と番頭より丁稚に至るまて、一人も洩らさす問ひ訊みたるか、誰れあつて知る者なし手懸りは全く茲に盡きんとす。

●本紙の特色　南は以つて旅順大連に至り北は以つて鐵嶺公主嶺長春に至る凡そ南滿鐵道沿線に於ける我滿洲日報の讀者は其日の新聞を其日中に看ることを得べし

東京電報

三十日午后四時東京特置員發

●函館の大火

函館大火の爲め損害三千萬圓の巨額に達し住むに家無きもの六萬人あり

奉天電報

三十一日午后一時四十五分奉天支社發

●露艦隊の火災

露歴七月末ストレチエンスクに於て黒龍江艦隊中七隻の哨艦火災に罹り其の損害九十萬ルーブルに達せりと同艦隊は尚ほ該地に碇泊中なり

大連電報

卅一日午後一時卅分大連支社特電

●菊池添田二氏の來滿

久しく英佛の間に在りし添田壽一及び歐米視察中なりし菊池男は二日長春着直に南下すべし

●加藤總領事の旅順行

加藤天津總領事は今朝旅順に向ふ

●紀念祭の前況

明日の始政開港紀念を祝する爲め各町其の準備に忙し

●小田切氏の支店視察

當地正金支配人小田切氏は來月三日頃當地發各地支店を視察すべしと

●小學校の授業開始

當地小學校來月五日より授業開始すべし其生徒數八百に上る見込昨年の今日は百九十二名なりき

●關屋氏の負傷

關屋民政署長昨日撿疫所視察の途上乘馬疾走に驚きて落馬負傷せり

雑報

●日米問題の前途

桑港に於ける本邦人迫害事件の訴訟は過日桑港市の代表者たる辯護人より答辯書の提出ありたるのみにて其後沓として何等の消息に接せず目下の所何日開審とも決定せず又營業禁止に就ての交渉は青木大使より米國政府へ抗議的交渉を提供しあるも是亦目下暑中に付國務卿不在の故を以て何等交渉の端緒を認めざるも幸ひ今回我が外務省より石井局長同地に派遣せられたるを以て我が政府に於ては一方に於て日米間の親交を圖ると同時に總て此等の諸問題を成る可く速かに解決し以て兩國將來の和親を保つ方針なりと聞く

●桑港市政刷新

桑港新市長は八月廿日警務局員の不適任なるを以て警察署長を擁護するの事實を理由とし同局員四名を罷免せり新局員候補者は半數は辯護士他は商人にして孰れも相當の地位を有し至極公平なる人物也と尚ほ廿一日に至り新市長は右候補者を選て新警務局員に任用せり然るに舊局員等は市長の資格を認めさるのみならす罷免の理由を以て根據無きものと爲し斷然之に反抗すへき旨を聲言し居ると云ふ

●露探問題の當局

露探殺害事件以來在京露國公使は日本滯在の自國人が軍事探偵云々の嫌疑を蒙るは誠に心痛の至りなりとて種々辯明に努めつゝあるが右に就き我政府に於ても軍事探偵の嫌疑あるものに對しては勿論嚴重に之れを監視すへきも露國人なるか故に露探なりと云ふを得さるは勿論なれは濫りに露探云々と喧噪するは好ましからずと當局者は云ひ居れり

●在上海邦人捕縛事件

北京電報に依れは同地に於て日本人二名清國革命黨の爲めに小銃彈藥を密輸入したりとの嫌疑を以て捕縛せられ目下清國より日本官憲と談判中なりとあるも斯かる情報は其筋へ達し居らず而して日本人は治外法權を有するものなるが故に清國官憲が濫りに之を捕縛し得ざるは勿論若し斯の如き場合には當然の手續として我官憲に豫め交渉すへき筈なるに未た何等の報告なき處より見れば其事實は信じ難しと云へり

●韓國暴動公報

其後其筋に達したる公電左の如し

一、忠州附近暴徒の重なる者は堤川及び寧越附近に在る如く清風以東及び以北の諸村落は人民暴徒に與みせる徴あり依て足達技師は二十三日歩兵一小隊を長湖院に出し水原より出てたる隊と協力せしめ該支隊の主力は二部に分かれ二十三日拂曉清風並に堤川の暴徒を討伐する筈

二、義州方面に出したる騎兵將校斥候は廿一日午前九時廣州に達し韓國火藥庫二、武器庫四を發見し之を爆發又は燒棄したり同斥候は續いて義州に向ひ前進せり

三、三陟派遣中隊は廿一日午後六時半三陟を占領す是より先き暴徒約四十は三陟に來り郡守を縛し良民を害し兵器彈藥を奪略し旌善方面に遁走せるを以て中隊は一部を以て進撃し其餘は二十二日旌善に前進する筈

●布哇知事の更迭

布哇島知事カーター氏辭職しフレエヤー氏其後任を繼けり前知事カーター氏は合衆國沿岸貿易港より布哇を例外となし船客丈は米國以外の何國船にても便乘せしめたしと中央政府に建議せりと

●鐵道保留問題に就て

鐵道國有保留六問題の解決に就き其筋にては審査會組織準備中なる由傳ふる者あるも聞く處に依れは本問題に對する當局者の態度は最初より解決を急かず數回の交渉を重ぬるに於ては自然解決の途もあるへしと云へり殊に目下殘暑中の事にもあり又各鐵道の精算人等も其後當局者と一回の交渉をもなさす利子概算拂の支拂を受けて殆んど滿足し居るか如き傾きあり尚六問題中各社共通のものは二三に過ぎずとて會社によりては左程の利害痛痒を感ぜさるもあれは熱心ならざるも無理ならぬ事にして當局者は右等利害少なき會社より徐々に解決せんとする方針の由なれは審査會議の決定を受けんとするには會社側に於て此際最も強硬なる態度を以て當局者に解決を促さされは覺束なかるへしと云ふ者あり

●本邦漁夫の審問

七月六日米領プリビロフ島セントポール港沖合に於て米國密獵監視船の爲めに引致せられたる六十三名の本邦漁夫は陸前宮古港伊藤長右衛門氏所有日東(九九十噸乘組廿八名)及び大日本遠洋漁業會社の海王丸(九十餘噸乘組三十五名)の乘組員全部にして日東丸船長綿貫覺氏并に海王丸船長は其後オーン、アラスカに其他の船員はアンガに收容夫れ〳〵審問を受けつゝありと

●明年度豫算如何

來年度豫算編制に就ては未た概算書の提出すら無き今日各省要求額の程度も未定なれは之に對する財政當局者の計畫も未定の由なるが大體四十一の兩年度は專ら戰後整理の時代として格段なる新事業は見合すべき方針なれは假りに各省要求額を前年度と大差なしとすれは四十年度歳入不足は約一億六千万圓にて軍事費剩餘金繰入一億圓、前年度繰入三千五百万圓、公債募集金三千百万圓を以て之を補塡したる次第なれは來年度の不足額も亦之と略同じく約一億六千万圓内外なるへし而して其の内鉄道電話製鐵所等公債支辨事業に屬する來年度年割額約三千五百万圓にて之れ丈けは勿論公債募集に出づべきは論なく其の他臨時の財源に待つへきは俘虜收容費の約四千七百万圓あり之は外務省の交渉荏苒長引けるも四十一年迄には受領の見込十分なりと次に臨時費剩餘金なり是れは四十年度に一億圓を繰入れたる上尚三千万圓は四十一年度財源に繰入れ得べき見込みなりしか其の後の狀況によれは尚多少增加を告ぐべき見込にて少くも四千万圓以上には達すべし次には前年度の剩餘金なるが之も少くも二千五百万圓に達すべき見込の由之に加ふるに歳入の自然增加も三十九年に於けるが如く三千万以上に達すへし固より豫想は出來難きも千五百万圓乃至二千万圓には達すへきを以て以上各省の財源を合計して一億六千万圓内外を得るは左程困難にはあらさるへしとなり唯問題となるべきは韓國財政補助の事なり之は元老大臣會議も開かれざる事とて我が國庫が果して韓國の財政を補助すへき必要ありや否や若しありとせは其の程度は幾許なるへきか未た一切判明せさることなれは今後如何に成行くや知るへからさるも大體より見て韓國の財政は歳入歳出各一千數百万圓に過ぎざる事なれば數年に渡りて補助するも其の額は左程の巨額を要せさるへく況や其の一年の支出額に至つては極めて少額に過ぎざるべければ果して愈補助するとしても帝國財政の上より見て左程困難を感ぜざるべしと也

●伊藤統監の談話

去る廿三日衆議院の伊藤統監歡迎會宴後、談話室に於て統監は各議員に包圍せられつゝ極めて元氣よき態度にて松田、大石、杉田、箕浦諸氏の質問に對し明快なる談話を試み遂に村田少將の注意にて漸く歸途に就かれたる程なりしか其要點を摘報すれば左の如し

内地新聞紙は韓國の官吏たらん爲め獵官運動盛に始まりたるが如く報ずるも實際は殆と絶無の姿にて余は却て其勇氣なきに驚かざるを得す、本邦人を任用すべき員數は、司法官其他に於て大小約五百名を要すへく斯かる多數の官吏を現在内地の官衙に從事しつゝあるものより任用するに於ては忽ち同官衙の執務上に差支を生ずへきを以て余は該任用に關し(一)大學卒業生(二)文官試驗及第者(三)行政上の經驗を有するもの(高等及び普通文官たる資格を有するもの)と云ふが如き一定の標準を置き之を任命せんとする胸算なり▲韓國に布くへき法規中公法に屬するものは固より同國特有の事情に鑑み之を制定するの必要ありと雖も其他一般法律に至ては我現行法規の精神を標準として之を制定せさるへからす而して裁判所構成法は領事裁判制度の改廢にも影響することゝて目下梅博士に囑托して調査を爲さしめつゝあり尚民法及び商法は大体我法典に準據し努めて緊切なる事項に對し簡單なる規定を設くへき豫定なり▲又本邦人任用の費用に關しては俸給及び恩給を合すれは頗る巨額に達し其一切を擧けて國庫より支出するは事情不可なるものあれは先づ韓國の財政を整理して幾分にても同國國庫をして是等を支辨せしめ其不足額を我國庫より之を補助せんことを希望するなり▲若し夫れ農工業等國富開發に屬する新事業費は事業公債を募集して之を補充せん考案なり何れにもせよ我國庫に迷惑を掛けさるへからさる次第なれは代議士たる諸君に於て虛心坦懷之が協贊に吝ならさらんことを望む▲世間動もすれは新協約締結以來余が意氣甚た軒昂たるか如くに傳へつゝあれども決して否らす想ふに新協約成立したりとて決して滿足すへきにあらすして要は我宗主權の實行と保護の實蹟奈何とに繫れる次第なれは余は之が實行方法に關し日夜憂慮を重ねつゝあり余が施設若し帝國の國是に背反するか如きことあらば諸君の彈劾は敢て避くる所にあらすと雖も韓國問題たる由來區々たる黨派的問題に非らすして實に國家的、國民的大問題なれは各派の諸君に於ても決して黨派的私心を挾ます一致協同國是の遂行に努められんことを衷心より切望する所なりと云々

●奉天道路規則(承前)

第十一條 若し已むを得すして粗重の物を道路に停置せるときは交通を害せさるの處に於てすへし若し停置六時間以上に及ふ時は當該署に屆出つへし

第十二條 停車場は皆一定の所あるを以て車夫は任意に停放し或は道路中を徘徊して客を招くとを得す

第十三條 凡そ車馬多人雜沓の所に到る時は並別して徐行すへし若し後行の者前行者を超行んとする時は豫め前行者に注意を與ふへし決して先きを爭ふて危險を招くとあるを得す

第十四條 凡そ街角橋梁及交通最盛の處或は偶ま危險起りたる處に巡警擧手して相圖を爲す時は何樣の行人を論せす均しく其指揮を聽くへし

第十五條 凡そ車馬通行禁止の地を萬己むを得すして通行せんとする時は豫め當該署に屆出つへし

第十六條 通行人は故なく馬路上に停止し多く相聚りて雜談等を爲し通行の妨害を爲すを得す

第十七條 凡そ道路上に於て遊藝遊戲等の事を爲さんとするときは豫め當該署に屆出つへし

第十八條 通行人は夜十一時以後必ず燈を携ふへし且つ高聲歌唱或は疾走するとを得す若し巡警の詰問に逢ふ時は事實を答ふへし

第十九條 凡そ男女道路を同行する時は任意嬉戯或は故意に擠擁するとを得す

●館令の發布

本日發布されたる館令左の如し

館令第五號

明治四十年五月館令第二號牛荘居留民假規則本日より之を廢止す

館令第六號

營口新市街官有土地建築物貸下規則中左の通り改正す

明治四十年九月一日

右牛荘領事 窪田文三

第二條第十二條及第十三條中「居留民行政委員會」とあるは之を「官有財産管理委員會」に改む

第十三條中「行政委員會役所」とあるは之を「官有財産管理委員會事務所」に改む

附 則

本令は公布の日より之を施行す

●傳習所の開設

營口には數箇處の學堂あれとも人口に比し猶不足にて入學を得さる者は大抵私塾に入る次第なる故今度海防分府馬司馬氏は傳習所を開設せんとして目下家屋其他の準備中なり

●現銀流出の原因

近時華りに現銀の流出するあるを聞くが是は上海爲替相場に變動を來したる結果にして運賃其他保險料等を仕拂ても尚ほ且つ現銀を輸送するの得策なるが爲めなりと云ふ尚ほ安東縣方面へも前月來兩三回にて尠からぬ現銀の輸出されたるものゝ如く是は大豆買入ゝ預約金に使用せらるゝものにて右の大豆は明年春期に輸入さるゝものなりと云ふ

●流行病の發生

當地東營口の支那人某は此程流行病に罹り僅に半日にて死亡せし故衞生局より臨檢せし處果して傳染病なる故嚴重に消毒を行ひたり又梨商某も同症にて急劇に死亡せし由右は支那人のとに拘れと時候柄一般に養生するが肝腎なるへし

●青年倶樂部の現況

營口青年倶樂部に就ては已に屢々記載せし處なるが其最近の狀況を聞くに更らに一層完備の域に達したるものゝ如く開設以來諸般の設備上約三百圓の欠損を生じ居りしも過日來有志の寄附金等に依り全部整理し且つ玉臺も一臺を增設したる由にて會員相互の娯樂機關としては極めて完全なるものなりと云ふ又是迄開會せる清語研究會も今回更らに英語科を加へ今一日より教授を開始する等にて會員と否とを問はず一般希望者を入會せしむべしと云ふ因みに現在の會員は四十九名にして尚昨今入會を勸誘爲し居る由

●編輯室より

東夷生

▲久しく決すべくして決定せられず遷延今日に及びたる墓地及び火葬場の敷地は此程愈々確定せるにいたりたる由在留邦人の爲に喜ぶべき一現象と存じ候由來日本人は西歐の人種に比し比較的熱烈なる宗教心に乏しく其死後の靈魂問題等に就て思ひを凝す事極めて淺薄に候爲めに海外殖民の地に在りても是等墓地問題等には甚だ無頓着にて死者を出して後始めて其設定を見るが如き例往々にして之あり候之に反して歐米人は先づ居を海外に卜するや最先きに設立するは會堂にて次いては彼等の葬らるべき墓地に候彼等の中には時に無神論者もあるべし然共其無神論者たる故を以て死者に禮するの道を忘れず厚く是を葬りて長へに死して後の靈を吊ふ事に熱心致し候是は彼等が宗教的信念の有無に拘はらず彼等が衷情の發露せる處にして寔に文明の國民に愧ぢざる行爲と見て可なるべく候吾人は必ずしも宗教家の徳を讃へず從つて生命なく力なき宗教の傳播は却て社稷を危ふする事あるは曾て此欄に於て述べたる如くに候然も共吾人は其生前のみを知つて死後を思はざる程の單純なる人種は之なかるべく候又然らずとするも墓地及火葬場の設定等に宗教其ものとは格別何等の干係も之なかるべく要は死者に對する禮を盡すに過ぎず候此點より吾人は深く領事以下の盡力を多とするものに候聞く迫ては万余の資金を投じて火葬場の建築計畫もあるべしと海外殖民者の爲め衂に慶すべき事に之有候尚他に歎迎すべきは近く避病院の建築せらるゝ事に候從前は同仁病院の一畫を割きて其に當て居り候へども是は素より萬全の策にあらず殊に近時は惡疫の終熄しあるも由來營口の地は流行病の猖獗を極めたる歴史もあり亦何れの日に發生するやも保し難き今日當局が逸早く其此處に着目して建築せんとするは尤も時宜に適したる方法に之あるべく候▲頃者日本内地に洪水あり鐵路の破損するもの二百余哩橋梁の流失若干而して農作物の被害にいたりしは概算千五百万圓に達したる由蓋し其被害の度近年稀に見る處なるべく候又函館には祝融來て全市七分通りを烏有に歸したる由何ぞ天災地變の甚だしきや政府も斯く臨時の災禍に出遭ふては自然の結果として免稅やら減稅やらをいたさねはなる間じく相應支出したる上に收入の減額を見ては當局の苦辛も一方ならざるべくと存じ候。

耳とふで

今日から愈々長春の假停車場が開始されて東淸鐵道との連絡も先づ旅客丈けてはあるが開通さるゝ事と爲つた北上南下の人々の爲めには尠からぬ便宜てある事は云ふ迄もない▲そこで此程將來の長春とも云ふべき市區設計の圖面を見たが仲々區劃の整然たるものだ▲恰度扇子形で其要の處が停車場であるそして南の一方に幾條の道路を放射してあつて又其を幾筋かの道路が橫斷して奧の方に行くに從つて間隔が遠くなつて居る▲聞けば極めて文明式であるそうな先づ日本内地などでは何處にもない目新らしい設計であると是を見ても其將來の長春が豫知せられる▲豫て澤柳文部次官の後を受け英京倫敦大學に赴き日本教育の講演をして歸途維也納萬國學士會に列席した菊地男は明二日長春に着するそうだ▲男は曾て文部大臣で在つた時から本郷眞砂町のある貧民學校の校長さんであつた▲次いて大臣を廢めて學習院々長に爲つてからも等しくこの小學校の校長を癈めないそして校長會議には何時も忠實に出席して色々の事を討議もし又意見も吐くそうだ▲男は極めて平民的の人である其學習院々長時代には恰度大臣を廢めて間もない頃て前には二頭立の馬車に乘り廻はしたのにも拘はらず院の正服正帽に小さなカバンを提げて眞砂町の自宅からテク〳〵歩き飯田町の停車場から電車に乘つて往復して居つた▲營口座も愈々昨夜で打止めたそうなが最初の人氣はどこへやら晩期に爲つてから頓と客足が減つて來た▲何んだか龍頭蛇尾の樣か感じがする例令遊んで居つても人氣の絶頂に達したとき癈せばよいに矢張り興行師的の根性かあると見える慾んどの一座はそんな風にしたくないものだ。

雑報

●奉天日日新聞の發刊期 既記の如く東亞……

……る豫定なりといふ

●奉天省内の礦山 奉天礦政調査局に於て……

寛甸縣 五道河
東平縣 小梨樹溝
西豊縣 雙橋子、小荘河
海龍府 杉松岡

人參長富なる者の言ふ所によれば去年採收の鐵既に四十萬斤に達せりと採掘は皆出願……

●天氣豫報

營口 自八月三十一日午後六時至九月一日午後六時

晴……

宮門抄

二十日 禮部 學部 正紅旗值日 松公假滿請安 那王善豫各續假十日 克王續假二十日 吏部奏派驗看月官之大臣派出唐景崇 張仁黼 壽耆 恩順 伊克坦 溥良 紹英 熙彥 雙壽 王金鎔 趙炳麟 葉爾棠 廖其鈺 增祺 成昌 貴秀 內閣奏派驗放之王大臣派出禮王 孫中堂 大額駙 岫 掌儀司奏二十五日祭奉先殿恭王行禮 召見軍機

上諭恭錄

二十日奉
旨翰林院侍講著熊方燧補授欽此

奏議

湖北臬司梁鼎芬奏請化除滿漢界限摺片

奏為時局艱危仰懇 天恩化除滿漢界限以固邦本而定民心恭摺仰祈 聖鑒事臣伏見我 朝定鼎以來 列祖 列宗深仁厚澤百姓感戴垂三百年道咸年間盜賊蠭起各省糜爛而嬰城盡忠之官吏破家殉節之士民無省無之血戰十數年死者千萬人卒乃底定比年兩次賠款爲數甚鉅省分係派各省百姓按畝按年解欵賠償今已十三年矣未聞有一人敢於違抗者由前事觀之各省百姓不顧性命報我 大清如此由近事觀之各省百姓不顧身家報我 大清如此此皆我 列祖 列宗與我 皇太后 皇上愛民之實效也今者世局日迫民生日貧已非昔時之比而我 皇太后 皇上念民依勤綸屢下時時以固結民心爲本事事以大公無我爲懷於是有預備立憲之 詔爲中國數千年所未有而且將軍都統本係滿缺今則兼用漢人粵海閩海兩關監督本係滿員專差今則先後裁撤歸本省總督兼管不分滿漢通婚一事而已也是化除滿漢界限之事天下臣民皆欲言之而未言我 皇太后 皇上言之且行之矣臣賦性愚陋未能周知天下大計然竊見我 皇太后 皇上已有此如天之仁天下臣民翹首以待擬請申明此義擴充此事即日 特沛綸音化除滿漢界限飭下在廷王公內外大小臣工各抒所見聽候采擇宗旨既定辦法可以次第施行臣尚有此事條陳侯奉 旨後謹當奏上臣六年之內四觀 天顏面陳時政直言無忌仰蒙 皇太后 皇上鑒臣愚直知臣無他屢荷優容不加譴責故敢冒昧瀝陳以報萬一不勝悚懼屏營之至伏乞 皇太后 皇上聖鑒謹奏

再此次徐錫麟槍殺皖撫恩銘一事聞供內有云欲殺端方鐵良良弼等滿賊滅盡滿人爲宗旨又訊時語署臬司毓秀能殺滿洲狗亦好又有殺例五條第一條滿人必殺第二條漢奸必殺委員顧松因救恩銘故徐錫麟目爲漢奸殺之兇惡至此自來未有此種悍賊來往詭秘搜捕甚難防不勝防誅不勝誅若以督撫大員日日防範時時顧慮心紛氣餒尚能爲 國辦事耶臣愚以爲此時辦法以懲首惡戒株連爲要義 綸音所播薄海同欽 朝廷之心天下臣民見之天下臣民之心 朝廷見之於是先行化除滿漢界限然後廣言路以學術禁奔競絕苞苴內外一心君民同體雖百徐錫麟何足懼哉若政以賄成民心渙散今日殺一徐錫麟明日便增十徐錫麟無人不恐無處不防中國至此欲天下不亂外人不來侵削其可得乎臣言切分疏自知冒犯大局危迫不敢不言謹附片再陳伏乞 聖鑒謹奏

中外要聞

●袁督晉京日期 日前 朝廷飭袁督晉京確聞袁督奉 旨定於二十三日晉京參議立憲事宜

●言官參北洋練兵無效 日前有某侍御封奏參劾北洋練兵之無效略謂北洋練兵各事一切規仿日本有名無實流弊滋多如陸軍各鎮自兵製辦被服靴韈暨零星等物悉由正餉內攤派徒飾外觀而耗自兵正餉被經手浮攤之不肖者復從中漁利以致兵力異常貧困又天津所設之兵備參謀教練三處處處糜費每處集總辦幫辦提調委員以及清書差弁護勇等多至百數十人月費薪餉萬餘金而該三處所辦之事皆各營各學堂各局所收支製造已成之事不過月造清冊各一分分進該三處備案一科吏足以了之歲糜巨欵大半安置私人在自好者不過月領薪水尸位素餐而好事者藉勢以搖攢權納賄等事亦在所不免又聞已革之段芝貴每月由北洋巡警項下尙支領薪水五百兩又在東三省亦每月支給 旨薪水三百兩試問此等開支歸於何案報銷云云聞原摺留中未發

●馬宮保召見述聞 直隸提督馬玉崑宮保於十九日由安徽原籍到京請安當蒙召見聞 兩宮訓諭以直隸軍務關係緊要宜極方整頓而熱河匪徒出入尤當飭屬紮軍隊竭力剿撫云云馬宮保唯唯聞尙須與鐵尙書略商軍事即赴津謁袁宮保再回平泉之

●陳給諫之封奏 陳給諫慶桂于十四日遞封奏一件現經探悉係歷陳中外隔 上德不能下宣下情不能上達一經改革大政如更定官制預備立憲等事政府意在博採輿論必召中外臣核議而諸事遷延此以爲是彼以爲非互相爭議必致停廢而後已反致良法美意不能行嗣後一切大政應請宸衷獨斷先定國是必在施行然後令群臣集議辦法應不至互相意見如是亦爲爭等語摺上兩宮嘉納

●覆奏抽稅章程 前日外務部因俄爭論哈爾濱稅章特札行津海關道查俄貨進口由津運往內地是否先補足原稅二分之一再完一子口半稅等語茲據梁道如浩復稱查俄商陸路通商章程第九條內載俄商自俄國由陸路運至天津之貨如轉運內地應按所稅則交一子口稅即正稅之半照各國通例辦理等語似無須補足原免三分之一之稅云云

●長少帥請調員辦路 長少白留守特電郵傳部云伊蘭鐵路已磋議興辦幾及二年惟邊疆人才缺乏求其通達庶政不易覯而擅長路政尤屬絕無請調施總辦肇基赴伊商辦一切路費由伊代籌情詞甚極懇切現陳尙書以施現調辦臨外路政碍難赴伊特商吳于兩侍郎物色賢員赴邊幫同籌畫因一時未得其人故尙未電覆

●鐵路監督更調原因 京漢鐵路總監督施肇基精通英文而於法文尙覺隔膜郵傳部陳尙書特與那中堂商請調外務部左參議高而謙爲京漢監督而以施肇基改充津榆監督以期人地相宜查高參議素通法國文字又與陳尙書爲福建同鄉故能得此優差也

●借款修路交涉 京奉鐵路派周太守長齡爲委員照會南滿洲鐵路公司詢照中日交還新奉鐵路協約借款日五十萬兩以充修路欵項南滿洲鐵路公司業經照允日內當派理事久保田克已君會同周太守礎商借款辦法矣

●英使力爭皖礦 駐京英使照復外務部稱銅官山礦合同並未作廢請轉行該省官憲照約辦理等語部中接照後甚爲棘手現已電復李伯行欽使商酌應付之策云

●張香帥對日法約之意見 軍機處鑒近接外務部函電以日法協約有礙中國主權令籌抵制之策及整理內政之方外患日亟曷勝憂憤除專屬交涉各事已經復外務部外查整理內政乃抵制之實際欲固邊防先定內亂方今革命黨各處橫行人心惶擾前奉 明詔令內外臣工條陳時政竊思要政多端豈能數日間令行舉辦必須探源扼要方能靖人心而伐逆謀惟有仰懇 聖明特頒 諭旨布告天下化除滿漢畛域令內外各衙門詳議切實辦法迅速奏請核定施行此旨一頒人心自定亂黨莠民無可藉口所有立憲議會等事俱以此爲基址自然推行無滯其他各要政儘可詳審斟酌次第舉行切懇 朝廷處以鎮靜固不宜因循舊習所謂尤望勿爲浮言張惶所搖宗社幸甚天下幸甚不勝惶悚迫切之至請代奏之洞肅艷

●奉天行省公署諮議廳會同各司道公議分科職掌章程 (續)

▲度支司 會計科 掌出入報銷通省地丁廉俸各項奏銷兼糧租所原辦交代事宜及預算決算等事 糧租科 掌通省地丁錢糧旗租契稅倉款兼蒙荒墾務清賦等事 俸餉科 掌通省各官廉俸薪津公費各營餉項事宜 稅務科 掌通省稅捐事宜 庶務科 掌陵需貢品各項賑撫事宜及監印收發並不隸於本科以上之事

▲提學司 法政師範高等以下學堂皆隸之 總務科 掌機要函電行文牘任用教員僱聘外國教習審訂教科及各校庶務 普通科 掌師範中小各校教務庶務 專門科 掌考查專門各校教務庶務 實業科 掌實業各校教務庶務 圖書科 掌各校教科參考各書籍儀器辦理學務報章 會計科 掌各校收入支出事務調查其合度與否

▲勸業道 以農工商局改墾務局農業試驗場森林學堂陳列所漁業公司畜牧公司礦政局皆隸之 分科四 農務科 掌農田樹藝畜牧漁業事項 工務科 掌工藝物料機器製造及調查本省礦政事宜 商務科 掌商業商會一切提倡保獲獎勵禁令事宜 庶務科 掌監印收發及不隸於以上各科之事

▲巡警道 以巡警局巡警學堂隸之 分科四 行政科 掌調查戶口稽核營業保安交通消防等事 司法科 掌搜索逮捕解送及檢查違警罪處分等事 衛生科 掌防疫清道檢查飲食物品藥料稽核醫院等事 庶務科 掌監印收發及不隸於以上各科之事

每司設司使一員每科設僉事一員(首科從四品餘均正五品)一等科員一員(從五品)二等科員一員(正六品)三等科員一員(正七品)司書不限員(正八品)副司書不限員(正九品)如事繁之科可添設額外委員酌給薪水巡警道別設一等醫官(正六品)一等醫正(官七品)交涉司別設一等譯官(正六品)二等譯官(正七品)提學司另設一等編校譯官(正六品)二等編校譯官(正七品)勸業道別設一等藝師(正六品)一等藝士(正七品)二等藝士(正八品)

●中日交涉再行開議 督撫兩憲日前因中日交涉事宜電請外務部訓條委因不接覆電是久行停議現聞已有覆電以照會日本萩原總領事於二十日復爲開議云

●海城將官膏專賣章程禀直督 海城縣管令辦理官膏專賣甚爲得法日前將章程禀於直督署云竊查鴉片煙流毒已數十年年前奉到政務處禁煙章程遵即實力奉行先於正月底將煙館一律禁止惟吸煙之人未能一律領票土商營業專主謀利更不肯按憑單所寫數目限制賣煙卑縣因即擬定官膏商辦章程設立官膏專賣局業於四月初一日全境一律開辦惟鄰縣及營口商埠尙未舉辦稽查一切不無窒礙時已兩月有餘大致規模幸已略具謹將辦法章程刷印成本禀呈宮保鑒核採擇施行云云袁督部堂批據禀已悉候將該縣創設煙膏專賣局章程札發直隸禁煙局核議採擇施行此繳袁督已札發直隸禁煙局採擇施行已妥議禀覆矣

●財政局參案覆奏 向者某侍御等參劾奉天財政局金葉兩觀察兩文案任毓麟等當奉 諭旨著徐世昌查明覆奏茲經徐欽帥悉心飭查已於十八日具摺覆奏已

●東三省民對於督撫之感情 聞其鄉紳云東三省本有統捐名目而其款則半歸中飽官場向皆視此爲利藪至徐唐兩憲到任後關心民瘼輕減苛稅嚴禁官吏中飽之弊其餘一切內政盡反前任趙將軍所爲故東省民人爲之感謝云云

●俄辦哈爾濱地方自治之問題 近得俄國官場確實消息辦理哈爾濱地方自治之問題聖彼得堡重新提議務期於明年正月一日在哈埠實行聞駐哈美領事於此舉頗形反對謂哈爾濱係中國土地中日協約內定明自開商埠俄國不應有地方自治之權俄總領事答以俄國經營哈埠勢力傷財已非一日故俄人於哈埠應得之權利爲他人所不及兩領事爭論如此

●吉林撫署門禁嚴密 向例內地各省封疆大吏之衙署出入必須掛號稽查以慎關防而符體制東三省則將軍都統之府案無門禁改設行省自應一如內地之例故朱中丞特於前日在宅門設掛號簿派人專司其事凡署內委員丁役之出入必詳細登載而於各員之進見者而尤盤詰綦嚴家丁人等日須搜檢門禁因較往日嚴密是以出入多稱不便云

●頒發整頓吏治條款 吉省吏疲玩皆原官民隔 下情不能上達督撫憲洞悉此弊特擬整頓吏治章程二十五條刊板刷印頒發各府廳州縣遵辦其中總以除書吏衙役積習疏通民隱爲第一要義於昨濱江廳亦奉到條款十本飭發所屬一體遵照云文

●南洋籌備秋操辦法紀要 勘定秋操地址 江督前議合江南北新軍會操擬擇儀徵六合一帶爲操地嗣因江北軍隊程度幼稚不能合操而江北提督又不認籌經費是以決計作罷仍仿上年辦法但由江一南鎮舉行大操以覘教練之成績計畫既已改變則大操地段亦應另行勘擇查上年秋操本欲集合於鎮江高資鎮旋因該處水災集潦未退改在省垣附郭爲戰線今秋續行大操自以仍赴鎮江爲宜爰飭徐固卿統制帶同所屬軍官於前月下旬遵陸親往鎮江相度地勢現已事竣回甯禀報江督謂沿途山巒隱復開展處亦堪供軍隊馳騁極合行軍演習之用云

計畫出操軍隊 上年秋操祇就第九鎮駐省之軍對隊分爲東西兩軍對抗演習所有該鎮分駐鎮江江陰之步隊一標均未與操义其時全鎮缺額甚多是以所出之隊合計之不過一混成協之數今秋舉行第二次大操除省垣步騎砲工輜各標營業已徵補足額均須一律出操外其駐鎮江之新軍亦當調至省中會操以考察兩年來訓練教育之成績全鎮預操之人數總計一萬餘名云

指提秋操經費 一鎮大操較諸與他省軍隊會操其經費自可大爲核減惟至少亦非數萬金不辦江南庫儲支絀萬難再支大宗巨欵江督因查前練兵處所發餉章每鎮每年應發獎賞一萬二千金江南自成鎮以來已閱兩載此欵並未領到兩年合計應領銀二萬四千兩爰札飭財政局將此款照數撥出移作秋操之用如有不敷再行設法另

分劃辦事權限 本年南洋秋操經督練公所詳明江督全歸鎮統主政當奉批准徐固卿統制亦一力擔任不稍推諉惟既須籌畫一切戰略即不能紛心庶務昨特詳懇江督請將採購軍需及接待內外賓一應事務仍歸兵備處經理以資熟手而免貽誤當蒙江督俯允轉飭該處遵照矣

●江督又擬決停演操 江督端午帥恐革命黨煽動軍隊致滋事端竟決定將今年操演停止

●閩省海匪猖獗 福建海澄縣海匪大起勢極猖獗

●大冶匪擾 鄂省大冶匪賊橫行滋擾頗甚即由地方官日昨調派馬隊前往剿撫

●鄂督定期北上 鄂督張中堂定於三十日北上

●恩撫靈柩回晉 故皖撫恩銘之靈柩擬於明日派員護送回晉

●日本水災 東京大阪及其他各地方大雨不止水淹成災

●韓舉行即位禮 韓廷於日昨舉行新帝即位大典

●俄國經營蒙古 俄國經營滿洲雖因日俄戰爭大敗受一挫折然於蒙古新疆一帶勢力則無絲毫受其影響俄人現於北自雅布魯諾山南達庫倫一帶地域一切行動其與俄國領事域之內毫無少異更進於張家口設其通商之根據地並布郵便之線以與北直各省俄人立脚之地互相呼應觀於俄人於海拉爾烏里雅蘇台等處邊疆擴張勢力反不如其經營買賣城庫倫一帶之力即此一端可見其志在圖南下已

庫倫恰克圖之間地方現已全入俄國勢力範圍各處河川之渡船業全由俄人經營金礦亦歸俄人開採勞働亦自俄國招來該處蒙民多半操俄國語企魯維武河谷之特爾勒濟衣羅河谷之珠爾琥朱兩大金礦本爲中俄合同之業今則全歸俄人掌握矣

俄國現於張家口設有郵便局銀行分行及茶毛皮等行貨物等由北清經由北地出入俄屬者年約一千六百萬兩內一千四百萬兩爲綢緞生布茶葉等由北清輸出俄屬一千一百萬兩爲獸皮絨羅等輸入北清庫倫至張家口間之電線係於一千八百八十九年建設後經二年始行開通全線長計二百一十英里俄人又設有中國人之郵便線每月定期郵遞十三次共計設一三譯每譯備馬三十四駱駝十數頭驛長及副驛長皆係俄人脚役則用華（人俄人獲此遞送郵便權利見西一千八百五十八年之天津條約及一千八百六十年之北京條約）

現在庫倫俄領事館郵便局會堂銀行礦務公司以及各種商人人數據去年末之調查共二百零數人內官吏四十人商人二百五十人兵士十餘人大北公司專用之電信線由此通過途中所經並無驛站遥達俄國俄人於歸化城雖不見有何等設備然常見有一種不可思議之俄行商往來此間而由張家口經烏里雅蘇台科布多城以達俄屬並蒙古中斷交通線沿路亦多有此行商及貞商人往來販售貨物以投蒙人嗜好惟俄國人素乏商才又因昂旺故仍未能暢銷惟以强力流通貨幣及售磚茶而已近且極力營謀恰克圖張家口間鐵道之權一面籠絡喇嘛教徒伸張勢力於全蒙古俾將蒙古全部收入掌握之中

俄國經營蒙古勢力已張中國近始發覺然其所謂防禦邊彊仍然有名無實刻下中國兵駐該方面者惟庫倫一營歸化城綏遠將軍所率之改練軍蒙古兵漢兵各一營及張家口步隊千人馬隊五百人而已此等之兵恐非哥殺克兵一大隊敵也

●江原郡暴徒 據陽歷十八日夜接到顧問部報告云十七日江原道麟蹄郡暴徒二百九十餘名破壞郡衙及顧問部分派所此外如郡吏邸宅及一進會事務所等亦爲其破壞勢極猖獗楊口亦有危險之虞郵便官吏等退至春川

●派遣鎭壓隊 爲鎭壓江原道忠清道一帶暴徒陽歷十八日午後六時定立中佐率步兵三中隊騎兵一二名工兵一小隊機關礮四門發京城向忠州其目的在先與忠州守備隊及在原州下林少佐所率枝隊連絡更與派遣九陵第五十一聯隊之一中隊合鬪原州方面暴徒之情形奪原州鎭衛隊銃器一千一百杆彈丸四萬粒鎭衛隊長及將校指揮之急募義兵其行動頗有秩序該地方一帶土地廣闊通信機關不備日本軍偵探大爲費力而暴徒則利用土民探知日軍進退且日軍糧食運輸既非大設備不過討伐鼠賊之小備作故不必十分供給是以較大戰爲難也

專件

萬國郵政聯約章程（續）

第十一款

一凡聯約之國與各未聯約國之郵政衙門互相交涉外仍准分別聯約國之郵政衙門同受此該未聯約各國郵政衙門互相寄遞之利益

凡有沿途暫封之信袋由一聯約之國寄至未聯約之國中間須由一聯約之國代爲轉遞此類暫封之信袋遞至聯約各國境外應遵末後聯約之國與未聯約之隣國所特定之國郵政議約條議或特立條規等按經理兩國之郵政事務情形辦理

現所論以上之信袋及應收信資之則例玆分爲二條開列於後

一本約內第五六七等款所定寄遞聯約各國境內所有信資之則例

二轉寄聯約各國境外所有信資之則例

以上兩項則例內所定之第一條其信資應歸何郵政衙門照收之法列後

甲凡各信件原自聯約之國寄至未聯約之國若須先完信資者應由第一原寄之郵政局照收其未先完者其信資即由轉寄之局收取

乙凡各信件原自未聯約之國寄至聯約之國若須先完信資者應由暫寄之局照收其未完者即由寄到末後之局收取以上兩項則例內所定之第二條其信資總歸轉寄之局隨時收取所論聯約國內之寄遞之費云

凡信件自原發之未聯約國或寄往之未聯約國者此項寄遞之費應仿照自原發某聯約之國或寄往之聯約國此二國內曾與未聯約之國定立郵政之交涉條例辦理除右此交涉事內定有批明須先行交足寄遞之費或先完信資若干者則該約國自有權衡按以上第四款內所定之陸路轉寄費收納

總結分給遞過聯約各國界外之信件轉寄之費須以各郵政衙門所造之清單作爲根據此等清單須照條例內第四款所定應照聯約國界內之各郵政衙門之核算轉寄費之清單同時備就

一所論各聯約之國互與他未聯約之國轉寄固封之信袋須備中間之別職約國轉寄者此等轉寄之費應按後列則例付給若在聯約各國界內所有轉寄費應照第四款所定之則例辦理

其在聯約各國界外者所有轉寄費應遵照互相干與之兩國郵政衙門因此特立或日後所定之約內所有關係之情形辦理

第十二款

一凡互寄批明內有貴重之信函並郵政衙門所發之銀票往來憑單及小包並收匯單等此項事件可聯與約之各國或數國自行互相特設條款辦理

第十四款

一凡聯約各國郵政衙門可以任便互相察奪情形可將應行辦理各事詳細公允議立總章

各該郵政衙門亦准互相彙定聯約各國以外之事惟所議定事件不得與本約有所違背

各該郵政彼此有所干涉之衙門仍准其互商定寄遞信件其路程周圍在三十吉羅美他以內減少信資則例（吉羅美他係法國丈尺每一吉羅美他合中國二百七十九丈二尺二寸即二里零五以三十吉羅美他合中國八千三百十六尺爲六十一五里分一五之長）未完

雜報

●關東都督行將來營 關東都督大島爵帥近在東三省沿途視察中准於華歷月之二十六日到營口視察一切云

●駐營日領事之敘勳 日本今回卅七八年日俄戰役文官之有功勞者在敘勳之沙汰中如駐營口之窪田領事勳六等單光旭日章同時賜金四百五十圓高橋副領事全六等同時賜金三百圓又前駐營領事之瀧川氏叙光旭日章常年賜金百圓如此可見日本叙勳之一班矣

●運送業家之會合 牛家屯之運送業者從前組織統一之組合居未久對於賃金之競爭毫無規定何等之限制多數同業者見少額之貨物而羣集之狀態呈遂常相排擠激甚之競爭而不知有公共利害之關係惟以各人之勉絕精勵者爲能獲何等之効果其結果殊惡且兹商議更爲規約之改正必有志之奔走方稱盡善故昨日在祇園明日重開談判由現下之秩序之態狀協議亦未確定須有第一次之集會運送業必有適時宜之方法不然紊亂無紀矣此際商議斯後或可望有協定之一日於商務上不無影響云

●調治疫疾 營口衛生局以西營德生興偶有患時疫者查問確實乃派遣醫生二名施藥調治以防傳染此亦見該局之盡心衛生時疫將發果能滅絕防微杜漸功亦甚偉矣哉

●禁賣鹹瓜 營口衛生局日前特諭示埠內小負販者流以恐災疾爲厲貽害生民特禁止售賣鹹瓜以杜絕疫疾而愼重衛生故小負販者流已相宜論奉爲禁令不敢違背云

●諭挖水溝 營口之水溝淤塞者率不挑挖致日久淤泥太多內藏穢物昨經工程局傳諭數家凡有淤塞水溝加緊修理以免穢物暫積觸人生病云

●猪店歇業 西營雙盛合猪店近以生意虧本甚巨無力開張已於前日歇業云

●賠罪受罰 西營某糧客近在上洋販到洋麪若干袋已經訂售貳日袋價値亦頗廉但欠款多日未清糧客情甚急遣人討債反受侮辱親身追討情算帳目殊多訛賴昨由糧客派人坐討不料大犯口角歐打甚重糧客遂欲控告經人調說如數付淸麪款且罰銀三十元以晏請諸客重修和好云

雜論

●秦穆公謚繆論 菽園

或請益於菽園曰君論楚穆王爲謬王既得聞命矣春秋所紀此外尚有許穆公鄭穆公咸皆小國之君無赫赫之名似可暫置不論惟五霸之中不嘗有秦穆公其人在乎昔賢論秦伯任好之爲人功業雖未及齊侯小白晉侯重耳之卓著兵威亦不及楚子旅之强盛無宋公茲父之荒唐且比小白重耳之禮士而其悔過納諫饒有道學之氣當可與楚旅并傳尤非齊晉宋二君所敢望其肩項也何以任好亦得穆公之謚誠如君言古穆繆通今繆謬同意是穆公縛敌穆公謬之大者即身後遵用釁制以有遺行歟不然何來此謬名耶余曰然人爲殉且以子車氏三子預焉夫三子秦之良也當日國人哀之爲之賦黃鳥歷藏白餘至左氏爲春秋傳紀述此事尚有餘憾爲之不平誠以人之云亡邦國殄瘁保全之重慮不給而況于推滅之乎想邇時卿大夫廷議謚法之細名之條以惡謚加之者不可磨也至于外傳野史所記穆公之女弄玉一事尤足令人噴飯初穆公愛女名弄玉者未嫁而卒不勝悼惜殉葬寶器一切從厚且至平日閨中所玩弄之玉笙亦納諸棺有無賴少年偵知潛往封墳盡取其寶偶將玉笙歷求鬻于市爲公所聞召詢來處無賴對以囊與仙女冥會互騎龍鳳偕登大上成眷屬者累日後已以塵緣未滿再返人世此笙即承其贈別者也且言殮時內外藝一雞珮一一吻合穆公以語夫人於宮中夫人曰信是吾婿也吾女已生天矣遂以貳室處之無賴而館甥焉卽世俗所傳引鳳乘龍故事是已彼簫史者實無賴之詭名也以此觀之穆公更荒謬絕倫矣或粲然曰秦穆爲謬原來與仙亦有關涉乎毋怪周人子忘却己父昭王水濱膠舟之仇日馳八駿慶會金母于瑤池綺筵者之亟稱爲穆王也余曰周王之號倘是取義於昭穆之穆亦未可定惟吾子既引秦穆之例以釋周穆奇解創論得未曾有錄之以備一說爲皇帝好神仙者作照鏡可耳

笑林

●荐醫 佩章

甲乙二人懸壺市上甲醫大人乙醫兒科彼此均以互相標榜互相推荐爲約久之無人過問甲謂乙曰成與君同業凡我所不能醫皆荐往兄處求醫惟兄所不能醫者向未聞有一病者薦來此事頗欠公道乙問何故甲曰凡有年紀的大人有病來醫一服我的藥必死死了再生作小兒此我之所謂推薦也兒遇小兒有病一服汝的藥亦必死死後仍復再生須原舊作小兒若有病仍向兄處求醫兄仍放出平生手段此汝所以紹無推薦也語畢諧諧然令人聞之頗堪髮指

●念佛 佩章

主文先生（即中國之訟師也）某甲筆鋒甚利晚年頗有悔心終日念佛不肯爲人捉刀適有老友以被誣陷告甲曰乃怕待我念完了經然後設計害他未晚也又前輩述某乙爲縣令生不以嚴酷爲主惟無時事必念佛經冀得懺悔其叔父謂之曰汝既做了知縣又欲做佛耶乙謙謝之曰我欲做西方佛耶耳非欲做中國佛耶也（耶爺一字音義相同）聞者笑之夫甲乙二人一面作孽一面念經謬之甚矣然猶勝於一身作惡絕無愧悔者且佛門塑像有菩薩低眉必有金剛努目若甲乙二人其殆得佛教之密偈歟

船開日期

○張家口 二十五日午後龍口

○北泰 二十五日午後天津

二十一日行情

匯水	五十九兩五
鈔票	七五五
汁錢	八〇五
烏豆餅	十兩
豆油	八五
青豆	八六五
火車元豆	無行
白眉豆	無行
小豆	七〇
大白米	一四五
裕德清水	九二
瑞興袞布	三四五
同興宏尺布	二二三
止裨高	二一六
一六老金龍棉紗	八八
手票	七五五
羌帖	七三六
現銀	五七
豆餅	一一三
棧元豆	無行
黑豆	無行
河載元豆	八九六
吉豆	十兩〇五
紅糧	四八五
小米	六四四

杉丸太 亞鉛板 消毒石灰 白米 洋釘
板小割 平野水 各種石炭 木炭 セメント
營口南本街四丁目
喜久洋行
（電話三一四）

營口乘車乘船最好の位置（電話一八七）
專業旅館 東京樓
團隊四人樣以上は規定宿料外格安勉强割引可仕候高等御下宿は面儀廉價御賄可申上候

營口
開平礦務局
唐山大塊炸子 每噸小洋十二元五角
頭號炸子 每噸小洋十元另八角
二號炸子 每噸小洋十元另二角
頂上焦炭 每噸小洋二十六元整
以上俱是兩禮拜以內付洋若買五十噸以外者其價格外公道以廣招徠此佈
營口瑞記洋行經理人啓

東盛和
本行在營口創設二十餘年專辦出口餅豆油等土貨進口棉絲布疋火柴洋麪糖煤雜貨發行並匯兌銀錢代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲便捷貯油豆米麥更爲合宜兼置有輪船一艘名城多利能載重二萬担如有欲租船運貨及在棧貨物水脚棧租格外從廉貴客賜顧請到小號面議是
總理司人亮卿謹白

りん病 せうかち
即ちゴノコッカス
花柳病の特効新藥
（醫藥學細菌學應用 萬國陸海軍局方參照）

藥價 三日分三十錢 七日分五十錢 十五日分壹円 小包料十錢
韓淸各有名藥店 取次全國各地及
大阪江戶堀下通三丁目 本家（電話西千五百九十番）
安々堂藥局

複方 痳病丸（白濁藥）
此藥能治白濁五淋白帶下及痳病初起之痛發熱痙攣疼痛男子生殖器病女子子宮服之應手奏効不可疑墅藥也宜用嘎洛散洗滌患處則奏愈速
承辦大淸國營口衛生局醫藥器械等物商
批發所 營口永世街警務課東隣（電話百七十番舍宿）
回天堂大藥（電話百九十番）

せられて生ながら大虎の[illegible]
と是れ因より無根の俗談にして取るに足らずと雖も甲傳乙說終に一般邦人間の話柄となりて苟も軍人軍屬の來りて大連に上陸す

▲チャン童いふ虎は朝鮮の産乳虎の時朝鮮王生擒して露の極東大守アレキシーフに贈るアレキシーフ始め之れを北滿に飼ひ後此

に入るに及て虎と共にとらはれん事を恐れ逃亡して行く所を知らす虎保管の主任者たる軍政長官川崎虎二君物色して遂に之れを太連市中に求め得月俸三十圓を給し百方

外に家族無し爰よ彼れ少年が之れに飼し之れに飲して而して後「得了麼」(モウェイカ)と問へは飽きたる時は即ち「ウーウ」と應へ足らさる時は默然再ひ口を開くを

に罷みたり冗長なる余の虎話も玆に休まん但し彼の別檻に羆熊の補充として滿洲名物の猿を收養せは妙 ず

▲今一つ寅には非ず寅公園農試驗場附近

大連家屋中の最古屋なり而して現に猥に補繕して役夫の宿舍に充て將に漸く原形を失はんとす恰も好し地公園の內に在り今に於て柵を繞らして碑を立て丶百年保存の計を

石墻を繞らし未た衆人を容れす占領當年依然舊態を存す後吏誤り遂に此清境を以て紳淑歩を入れさる魔窟と爲す聞く近ろ全屋取拂の議決すと是ある哉

雜報

占領當年の大連

方外生

日を擧ぐれば「うなぎ」の紫幟東隣に飜へり耳を聳つれば「春雨」の小唄西樓に漏れ豆腐屋の荷朝に勝手口に下り按摩の笛夕に門を過ぎ新來の細君をして滿洲も是ならと安心せしめ南下の邦人をして日本も異らぬと恐悅せしむる今日の大連も僅々三年前はといへば頃も此頃機に占領して日を經る百に滿たず旅順の惡戰正に酣にして砲聲殷々大和尚山に響き電影閃々老虎灘に映じて屢々土人をして戰局の究竟如何を掛念せしめ更に八月下旬第一回總攻擊の後に會し重傷大患氣息喘々の勇士鮮紅斑々たる假繃帶の儘擔架上の人となりて露西亞街なる野戰病院へと送り込まる丶もの陸續旬餘に涉り途上逢着の同胞をして正視するに堪へざらしむる等一般の光景轉た荒凉慘憺たるものあり進んで其詳を說く亦趣無きに非ざるも其は姑く戰爭直後の大連ともいふべき題下の話柄として玆には單に占領第一年の大連即ち最も幼稚なりし大連を語らん

▲市街の形を備へたるは露西亞街の外は監部通奧町大山通東鄉町吉野町等に過ぎず軍人軍衙或は軍艦の名を移したるは多くは在來のものにして本國の「國」名を附したるは概ね新設と見て大錯なかるべし勿論露の經營區域が遠く伏見臺小岡子東に及びたるは完成半成の道路未成の路標水道布設の痕迹街燈木柱の存在等に證すべく而して其中心は實に今街端の倘ほ及ばざる牛里荒草茫々たる野岡の上に孤立せる紀鳳臺劇場附近に位せり大連我手に歸して擴大したるか抑も又縮小したるか

▲今日殆ど完然の觀ある露西亞街が全体の約一半兵燹に罹りたるは人の熟知する所我修繕或は再築を經たるものは其屋根亞鉛張りにして然らざるものは瓦葺なり

▲好位地の大建築今の滿鐵本部元の民政部は我手にて根本より再築せるもの當時は燒煉瓦狼籍の上に歪曲せる鐵骨柱徒に疏林の如く亂立して人をして占領の今二日遲かりしを歎ぜしめたり此屋ダルニー市廳の跡にしてサハロフ市廳の官舍は今の總裁社宅元の滿洲館倘に燒燬を免れ直に我遼東守備軍司令部として西大將の宿舍に充てらる民政部廳舍の再築は全然原態に模倣せられたるものにして實に大連に於ける劈頭第一の工事たりしなり

▲當時在大連の軍衙は大小四十五廳と稱せらる其主なるもの遼東守備軍司令部第三軍兵站監部海軍防備隊本部（海上に在ては第三艦隊あり司令官片岡中將）野戰鐵道提理部野戰病院軍政署二兵站部（一は第三軍附一は遼東軍附）碇泊場司令部等にして兵站監部は今の郵便部附近全体を充用し二兵站は其前に列設せらる其內遼東兵站の使用屋舍は所謂露探紀鳳臺の住宅にして貴重なる卓床の類を留めたり提理部屋舍は東清鐵道會社支店跡にして今民政署となれる當時の軍政署は其滊船部なりしなり今の露西亞街の小學校は露の敎會堂にして當時病院の將校室に充てられ赤十字旗高く其樓頭に樹てられ幾多有爲の人材が萬歲を唱へつ丶瞑目したる所二十二万圓を抛ちて獨力開設以て露人の歡心を買はんとしたる紀鳳臺の露清折衷式壯麗の新劇場は殺風景にも恰好の避病院として適用せられ夏目館松原館等は通過軍隊の宿舍にして其名は第一回に保管したる兵站部が自ら名（即ち兵站司令部の姓に因みて命稱せしもの大棧橋は勿論碇泊場司令部の專管區にして露の水雷は啻に大連灣內外の全水面に滿布せられたるのみならず陸上此棧橋附近にも密設せられ若干の罹災者を出し其堀出痕と水雷殼とは海岸到る所に發見せられ又別に海軍が封鎖以來少からざる犧牲を供して慘憺たる苦心の間に機に索集し來れる百千の大小水雷は防備隊附近の廣場に堆積せられ見る者をして悚然として肌に粟を生ぜしめたり而して當時も今日も將來も吾人が最も慶福すべきは我海陸軍進守機宜に適して敵をして大連の生命たる大棧橋及船渠を破壞するに遑あらしめず完全に此等重要の大機關を我に收得したる事是なり

▲兵站部といへば當時南北共に倘ほ激戰惡鬪の眞最中にして日々本國に向て送達する戰死將卒の遺骨遺品は殆ど悉く大連の一地に集り來り兵站部の屋內には若干安置せられざる日とては無く時には門前無蓋の地に露積して僅に衞兵を附して保護したる事あり流石に明日は同じ運命と期したる戰友同士の情愛鑵箱を疊ねロシャ更紗を敷きチヤン線香を供し軍用蠟燭を獻じ南無阿彌陀佛の紙片を懸け洋裝の從軍僧を招き苟めながら佛壇をしつらへて竊々讀經の聲る哀々軍劍の響と共に屋外に漏らしたるさへあり淸淨の小箱に收めたる遺骨もあれど破れて一部血の染み着きたる戎衣歪みて大牛鞘に收まらざる佩刀は之れを見たる時の家族の心情を想ひて中々に憐れ深く更に偶ま彼の戎衣の袖より指折りて夫の凱旋を待つ妻旗持ちて父の出陣を誇れる子の笑を含みたる寫眞の現はこ丶を見ては將も卒も一齊に面を背けて物言ふは無かりき

▲當時市街中最も繁華の區といふも畢竟殺伐なる劍光帽影沒趣味なる蹄響靴聲の集中點なるに過ぎざるが其は一監部通及其附近あるのみにして他は三々五々の露淸民屋ありて壁上或は紀鳳台或は福和と所有權自證の白書大字が新に失ひたる舊主人の名を語るのみ日本橋より以西の地幾何の人家も無く露西亞街の宿舍より虎公園に到る一廉の郊外散步の念ありたり

▲虎公園の光景は露人半成の儘にして何等今日に過ぎたるなく又及ばざるなし彼の虎は隣檻に其牝を養ひたるも占領當時已に亡く但だ彼の別室の空檻に杜牝一對の大熊を收め居たり後二頭相次で斃れ今剝製されて商品陳列所門頭に立ち雄姿宛然尙ほ生けるが如きは人の知る所ならん（以下欄外へ）

●大連の變遷

刀水生

◎昨年の今月今日は斯の大連を開放自由港と爲し以て天下に布告したるの紀念日なり當局此日を卜して大連の祝日と定めたり民意亦此所に在り此日を以て市民相和樂して各町の住民競ふて此當日を賑さんと欲して各々專心趣向を凝すありと

此秋に際し故き大連を溫ね新たなる將來の大連を研究せんとす之れも亦筆を擱に換え鉦鼓を叩いて大連の繁昌を囃し立るもの也

◎露國か以て國是とする世界倂呑四邊侵略主義は虎視眈々たる列國環視の中遺憾なく實行されたり是ち關東州は露國か以て得意とせる巧妙なる外交手段に因り一兵にだも衂らさすして租借否占領されたる也

◎露國か此大連の前身を租借之れに大設備を施したる所以のもの全く日清戰役に起る即ち淸國は當時日本に仕拂ふべき償金調達に困難せり恩を售り歡心を買ふは此秋にありと考へたる露國は百方斡旋巧みに其間に奔走するものあり恰も藥餌に困難高利貸に苦しめらる丶貧家に恩を冠せて退つ引きさせず其娘の美人を引て己れか妾として弄ひたる樣なるものなり

◎淸國の信賴厚き露國は千八百九十六年に於て彼と秘密條約を締結せり當時の駐淸公使たる「カシニー」伯爵に賴りて爲さる世にいふ「カシニー」條約なるものこれなり其條約の梗概

一　露國か西伯利亞鐵道を滿洲內地を通過して烏港に接續し得るの權
二　吉林、山海關鐵道布設の優先權
三　右線路附近に於ける步騎兵の駐屯權并びに其附近の礦山採掘權
四　露國の攻守に便する爲め東方不穩の際に於ける十五箇年間の膠州灣の租借權
五　旅順大連は日常淸國其防禦の任に當るへきも戰時は露國陸海軍此地に集中し得るの特權
六　淸國か旅順大連を他國に割讓するの禁

等にして獨乙か其翌千八百九十七年自國の僧侶殺害事件を名として露に先約ある膠州灣を占領するや得たり賢こしと爲す露は多年矚目宿望せる半島の要地大連及び旅順を得んか爲め陰に獨乙と默契して其占領を承諾せしめ陽に獨乙は巳の忠言を容れさるとなし西伯利亞艦隊をして旅順を占領せしめ次て他の强國の侵入に對し滿洲の防禦を援くる爲めと稱して旅順大連の租借及び東淸鐵道の支線布設權を請求したり淸國は唯々諾々彼の欲する儘を承諾せり人は云ふ露國は威嚇的に强求したりと然れとも吾輩は斯言を信せす如何となれは當時の淸國と露國の關係淸國は露國の爲めに言葉巧みに口說落されたる孀婦にして情夫たる露國との交情や日にます〱親密なり情を餌に利せんとするは薄情なる男の慣用手段なり惚れた男に對して常識を失ふて仕舞ふ之亦女の情なり無上の信賴を受けたる露國の望む所欲する所容れられさるなき當然のみ唯兩者か世間を憚かり陰に受授を行ひたるのみ

◎露國は大連旅順の二港を二十五年間租借及滿期に至りて之を繼續し得るの權と此地に兵備を設け陸海軍を集中するの權を得たるの外東淸鐵道の幹線より大連旅順に接續するの鐵道及び營口其他に至るの支線鐵道を布設するの權を得て始めて「カシニー」條約の欠點を補ふを得たりこれを「パブロツフ」條約とはいふ此條約により露國多年の宿望たる一大不凍港即ち一大商港を得るにいたれり千八百九十九年露帝は大連港開放に關する勅諭を發し此港に建設すへき一市に「ダルニー」の名稱を附し將來該港の發達を計る爲め自由貿易の權利を該港に與ふと宣へり

◎露帝の其勅諭や是ち旂れ商港たる今の大連の起源を爲したるものなり

◎露淸銀行の一專業として經營されたる東淸鐵道其又鐵道の一事業として設營されたる大連港は當時の露國藏相「ウキッテ」の配下たるダルニー市長にして築港技師長たる「サハロフ」中將によりて經營さる實に靑泥窪附近の地二十五箇村を一畝七留にて買收面積百二十五万四千五百四十九坪の一大市區を形成せんとなしたるなり如何に露國か此港灣に重を置きて經營したるかを見へし露國の遺物として當時の大連設營の蹟を代表すへきもの幅七百呎長千二百呎の大棧橋直立二百十七呎の發電所の煙突等二を以てして餘あるへし、東洋第一と稱する棧橋と而して煙突

◎露國か大連即ち靑泥窪を經營せんとして東淸鐵道條例に追加を爲したるは千九百八十九年（我明治三十二年）にして大連を我手に占領したるは其後の六年目なり日露宣戰は天下に公布さる丶而て仁川港外に旅順港外に我奇勝を制して進んで而して海陸共に戰へは克ち攻むれは取るの勝を我一手に占む當時大連港內に於て「エニセイ」其他の一艦我敷設水雷に罹りて轟沈するやダルニー市民は戰々恂々として堵に安んするものなし「サハロフ」市長は其形勢の日に非なるを見るや住民一般に告諭をなし行李を整ひ退却すへく命令したり三十七年五月上旬我軍貔子窩方面に上陸直に普蘭店附近の鐵道を破壞したりとの報市中に喧傳せるにいたり市民は更らにいよ〱恐怖爲すを知らす而して同月二十六日南山の敗報旅順より傳はるや「サハロフ」市長は殘留せる露人を市廳の前庭に召集して懇ろに退去の方法を訓示し自分も最後に大連を引上け旅順に向ふ當時駐屯せし東部西比利亞狙擊聯隊將卒合して八百六名及び彼南山の戰鬪に參加したる砲艦其他の水雷艇等も暗夜に乘して旅順を指して遁入せり

鳴呼露國か經營したるダルニー市は玆に滅亡したる也當時日本人の殘留せるもの男三人女三人あり哈爾賓方面より引上け來りて殘留し居たるものにして日本の商人として旭旗を此地に拜したるの當初の人たりし也

◎彼等は三十七年五月二十六日ダルニー市を放棄して去る我騎兵及步兵の各一隊來りて占領したるは同二十九日其間の三日間は主權を失したるの土地とはなりたるなり時に與二軍司令官金州にあり同月三十一日川崎大尉（鐵嶺に病沒したる川崎少佐）を派して戰後の秩序を回復に力めしむ其後大連の事第三軍司令部の主とする所とはなれり超えて六月下旬にいたり兵站監部大連に到着直に事務を執る而して一般行政を司とる事とはなりたり而して七月に於て鐵道提理部碇泊場司令部師團糧餉部等の所在地となり內地より軍需品の大輸送の要衝とはなりたり

◎其後遼東守備軍此地に移さる丶や西司令官統轄の下に諸般の行政は統へらる而して三十八年一月一日遼東守備軍政規則の施行せらる丶にいたる

◎三十八年二月紀元の佳節を卜し靑泥窪の稱を改めて大連と命名されたり嗚呼大連なるの稱は生れ出てたり我神武の即位紀元二千五百六十五年目なり嗚呼我日本の大陸發展此日を以て紀元とはなすへき也

◎現都督府參謀長神尾少將は當時守備軍參謀長として軍政長官たり下りて同年六月九日關東洲民政署は東京に編成され石塚英藏氏其民政長官を拜し部下を統卒任に來りて上陸したるは同月の十七日軍政署より事務の引繼を受け民政署を開廳したるは六月の二十三日なり

◎關東洲民政署は昨三十九年四月を以て關東都督府に隸屬して關東都督府民政部とはなれりこれと同時に大連民政署なるもの設置さる關屋貞三郎氏之れか署長たり從來大連の行政に與かりたるものを上くれば

川村大尉
神尾少將
石塚英藏
關屋貞三郎

等の四氏なりとす

◎本年四月鐵道提埋部解散して南滿鐵道會社來りて業を啓くこれと同時大連に渡來するもの頗る多きを加へて今日にいたれり

和洋雜貨
小間物化粧品
木履類

磐城町赤煉瓦建
㊉商店（電話二一三）
御上階部
階下陳列場
日清勸商場內 出張店
大連勸商場內 出張店

專賣特許第一一八七八號
蒸干麥廣告

特効

此麥はよばし麥と稱へ初めに能く洗ふて蒸しあげたるものゆへ小石も砂もなく又ちりあくたもなし夫れて飯に炊かうとするには改めて洗ふにおよばずゆでもせず滋用分は少しも減らざる故たべる人のやしなひになることうたがひなし

此麥は蒸したるのち蒸氣をかけて充分かはかしたるものなれば長く貯へおくともかびもせず味もかわらず飯に炊けば三倍も三倍半もふゑる德用品なり

此麥は大陽に晒さぬもの故に生麥のような臭氣なく匂ひ香ばしく味ひうま

用方

此麥を飯に炊ふとするときは二三時間前に水または湯に漬けおき麥粒の能くひらけてやわらかになりたるころ米に交へて煮るべし

若し水または湯に漬けおくことを忘れたるときには先づ是を釜に入れて湧きあがるまで煮たるのち米を仕てめば漬けたるものとかわることとなし

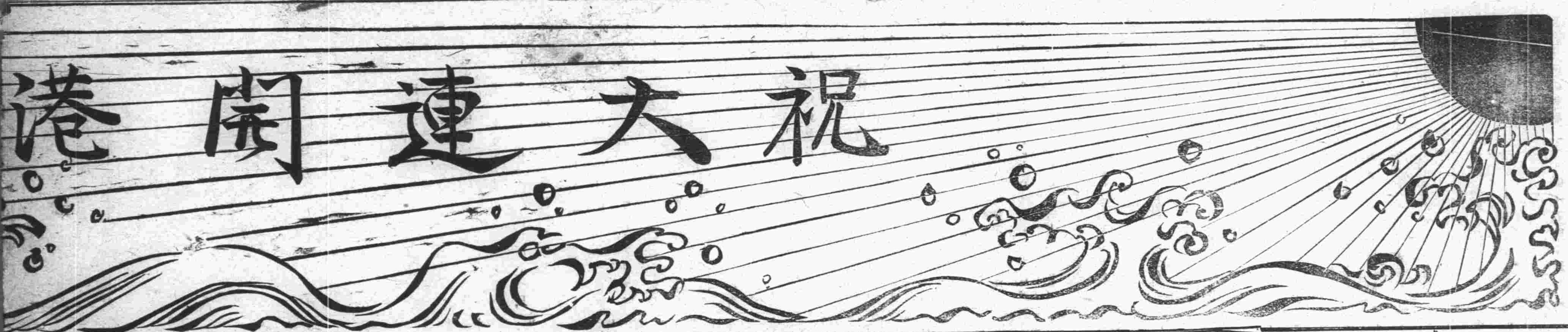
見本御入用の方は御申越次第進呈（遠近不係）

大連市常陸町三十三號地
滿洲一手販賣
東省公司

營業課目
毛布
絨
ネル
洋服

大連市伊勢町四十二號地
N.F
大阪藤枝大連支店

專賣
洋麵
大連市但馬町
日本製粉株式會社出張所
（電話二七一番）



夏物大見切
合着服新着
武内洋行
大連市伊勢町日本橋際

支店所在地にて極て御便利に
諸品の仕入元買次致候
和洋雑貨化粧品各種並に柳行李旅行用品具類は常に内外の流行品を撰み最も善良の品を安價に販賣仕候
本支店 京都 大坂 神戸 豐岡
大連市奥町二丁目常盤公園前
金大登洋行

大連港を開放されし芽出度去年の今日よりも尚芽出度今年の今日ア、芽出度哉夫よりも更に明年明々年明々々年の今日は層一層芽出度からんとを
和洋食料問屋 大連市吉野町
㊐ 川村洋行
（電話二三三）

新築落成
移轉開業
大連市吉野町二丁目
菅原寫眞館
器械増設
技術精巧

精白米
麻袋
洋麪
販賣
大連市大山通
庄野支店
電話（一一六二番）

大連寫眞業の魁祖
磐城町二三二
江原寫眞館
西通三日月湯裏

醇良清酒
FUJIMASAMUNE 商標 富士
富士正宗滿朝發賣元
村崎洋行
大連市但馬町第十二號地

祝
大連一周
諸紙卸商
大連市伊勢町四十二號地

諸官衙御用達
新聞社御用達
版木師
大連市奥町二丁目
藤井春陽堂

祝大連開港一週年
高等旅館
磐城ホテル
大連市磐城町
（電話一六七）

營業品目
●白米 ●硫黄 ●木炭 ●石炭 ●食料品 ●雜貨 ●委托販賣
大連奥町
山縣大連支店
發電署語（一）「電話二二七」

諸金物
船具
工業用品
機械附屬品
ペンキ塗料品
礦油外諸油
岸洋行
大連市大山通二丁目

藥局開設廣告
今般藥局を開設し諸大家の處方箋に依り調劑の依頼に應す
但し賣藥化粧品は從前の通り販賣仕候
各專門醫先生御不案内の御方は當舗に於て御紹介申上候
大連市伊勢町四十二號地
（井上賣藥部より西へ入左側）
久保田赤誠堂藥局

大連で菓子商之率先者は並木で勉強の王も並木です。並木の本店は京都菓子掛物類の御問屋で、各博覧會や、各品評會等の賞牌を受領した事は夥しい者です。大連の支店は監部通貳と浪速町貳（電四四四）です。共に掛物類干生菓子の製造卸小賣屋です。自稱の勉強王が如何なる勉強するかは多少に不拘、道の遠

衛生保全消毒無比
ホルマリン石鹸着荷
◉化粧用 ◉消毒用 ◉洗濯用
皆さん御愛用のホルマリン石鹸新荷着仕候御承知の如く衛生消毒を目的と致し効力確實なるは他に比類無之芳香馥郁たるを以て湯屋杯に持ち行くも他人に嫌わるゝ患いなく先つ其特色を摘記して御參考と致し升
●ホルマリン石鹸は有効無害
●ホルマリン石鹸は常に使用すれは皮膚病は勿論傳染病を豫消する眞に衛生上の有益
●ホルマリン石鹸は驚くへき殺菌力を有す
●ホルマリン石鹸は皮膚の艶美を好くし「ヒヒ」「アカギレ」

東京 円
ホルマ
◉專ら消毒用に重きを置き悪臭なく安價病及病理的識
御愛用ある次第であります
◉今日を紀念日として御披露大賣出を致し特別大勉
大連市監部通二
藤田

壹周年紀念

棉花 製棉 煉瓦
船具 金物 其他 業
運送 委托
岡本洋行
大連市信濃九十九號地
電話三百十九番

洋小間物雜貨
中島屋
中島專之助
本店 大連市日本橋前
支店 滿鐵工作課內
出張所 伏見臺滿鐵構內
戲球場 コーヒ店 大山通廿五號地（大山倶樂部）

正札 實行
越
吳服店
大連市磐城町
（日清勸商場前）

時計商
近江洋行
大連市浪速町二丁目（電話四四六）
營口西北街（電話二〇七）

大連 初瀨
滿洲向 長短各種 防寒用

無比堅牢
市內御注文の節は電話にて御申付被下候はゞ早速見本品持參可仕候
遠地は大々的御便利可計候
大連市伊勢町一丁目 電話一六一番
旅順仍木町三丁目
初瀨靴店

和洋食料品
乾物青物
諸鑵詰洋酒
問屋
滿洲代理店
醇良醬油
大連市浪速町二丁目
大谷藤七大連支店
（電話一四一）

祝開港一周年
夏物 合物 大安賣 着荷
雜貨商
高橋商會
大連市磐城町二〇七
來ル九月一日ヨリ冬物卸部賣出シ
憂ル勿レ滿洲ニ此店アリ
弊商會ハ常ニベンキヨウトテイ子イヲモツテ主トス

城 謹製
ン石鹸
…を主とし充分ホルマリンを含有せしめあれば衛生家の常々
…を致しますれば御小賣共どし御来買被陳候敬上候
…丁目正金銀行前
…大堂

「シモヤケ」の出來る憂ひなし
●ホルマリン石鹸は衣服夜具等洗ふ時は愉快に汚を去り毫も地質上染色を變せす
●ホルマリン石鹸は犬猫を洗ひて艶を出し（のみ）（しらみ）（だに）の類を驅除す其他使用法は各種能書御熟讀被下度候

分けて御化粧用石鹸の中心に本舖特製の精巧緻密なる金屬製七福神の內一つ福神を容れてありますから御使用に從て出現致すべく候而して何神にても同一のもの七個相揃ひたる時は御持參被下候へば石鹸一個と引替其上景品を上げます

祝始政記念一周年

受領賞牌

凱旋紀念五二共進會	名譽金牌
東京勸業協會品評會	金賞牌
第五回內國勸業博覽會	名譽銀牌
米國聖路易萬國大博覽會	金賞牌二個
佛國巴里萬國大博覽會	銀賞牌
米國閣龍萬國大博覽會	金賞牌
日本金工協會展覽會	金賞牌
東京彫工競技會	銀賞牌
東京金屬器共進會	銀賞牌
日本美術展覽會	銀賞牌
明治二十八年第四回內國勸業博覽會	一等進步賞牌
明治二十三年第三回內國勸業博覽會	二等進步賞牌
明治二十年工藝品共進會	三等銅賞牌

東京勸業博覽會
名譽銀賞牌受領

今回東京勸業博覽會ニ於テ貴金屬裝身具即チ時計、鎖、指環類ニ於ケル幾多當業者出品中此ノ名譽ノ最高牌ヲ受領シタルハ獨リ弊號本店ニアルノミ

特ニ出品物中畏キ邊ノ御買上ヲ賜ヒレハ弊號ノ榮譽トスル所ニ候

弊號製造發賣品ノ精巧確實ナルハ前記賞牌ノ示ス所ニシテ價格ノ低廉ナルハ既ニ江湖ノ御確認アル所ナリ

目下東部最新流行ノ時計、鎖、指環、帶締、金銀盃等美術品一切新着仕候

貴金屬時計及美術裝飾品
製造販賣

萬松號

大連市大山通二丁目
（電話三六八）
本店東京市大傳馬町

祝開港記念一周年

●占領當年の大連（續き）

▲彼の大虎官エ一本邦婦人を喰へり謂く開戰の際露人の妾となりて殘留せる一本邦婦……

……るもの先づ往て彼の虎を看制札巡視の嚴なるにも拘らず敵愾の餘氣忽ち佩劍を抜き闔木を伐り之れに對して扼腕裂眥エイヤの聲……

……地に移すと

▲現に虎の飼夫たる支那少年は幼時北滿に在りて當年露人の爲に特に飼夫として雇入……

……慰諭して再び舊役に服せしめ以て今日に及ふ

▲此少年と此虎全く竹馬の友（？）にして虎……

▲寅の食糧は一日果して何斤なるかを記臆せされとも毎月の飼養料附帶共戰時實に五百何圓と註されたり當時皇太子殿下に献上……

……小川の畔に半壞の獨立支那家屋あり荒態既に著く一見他の太連新家屋に似ざるを識る是れ實に過去の支那漁村青泥窪即ち未來……

……爲さば愽り一公園の觀と趣とを添ふるに止まさるなり

▲松公園は元土豪某の墳墓某祠早く絶え松……

に近日中邊門外の警察官派出所を設置せる寺院内に工場其他一切の設備を爲し本月二十四日の秋季皇靈祭をトし第一號を發刊す

鄭家屯騎…八家子、平石門、興京廳　八寶溝、南夾河、石廟子溝、遼陽州　尾明山、大楡溝、張家溝、鄭家大溝、小柳家谷

●…り銅鐵は唯官辦の鄭家大溝の一ヶ所あるのみ海龍の杉松岡は石炭幷に鐵を兼産し延縁甚だ長く層積頗る大なり同地採堀商人の一は資本最も大にして十萬兩なりと稱す

大連　西の風晴れ
奉天　西の風晴れ
最高七六、五　低九、五
最低五七、二　低四、九

講談

假名太閤記

（第五十三册）　松林伯知講演

偖此方は淀殿に於ては思ひ設けず織田の別荘にて憎しと思ふ三條の局を辛き目に遇はせたので其滿足は一方ならず、夫れが爲に自分は謹愼の身とは相成りしが、そんな事は何とも思はぬ、然るに其時見たる秀次公の近侍の不破伴作、年こそ往かぬ其美しさ得も言はれず、元より浮氣の淀殿なれば忽ち戀風身に染みて忘れる隙もなか〳〵に何時かは彼と寬りと遇ふて話もして見たし一夜の契りも籠めたしと、思ひ詰めては身も世もあられず、とう〳〵戀の病と云ふ大變な病氣に罹りました、けれども世間見ずの未通女のやうに胸にのみ思つてクヨ〳〵して居るやうな事はない、そこは淀殿の事ですから己れの心腹とも云ふべき大藏の局と饗庭の局へ自分の胸の中を語り、どうか此戀叶へさせてよと言つて賴んだ、すると夫れ等の事には拔目のない兩人の局は「エ、宜しうムいます、決してそんな事に御氣をクヨ〳〵遊ばすな、不破伴作は勇氣もあれど戀に掛けても中々の手管者とか承はり居りますれば、彼を招いて御伽を致させること何の仔細はムいませぬ、屹度伴作を其内に御前へ伺候さするやう計らひますれば、安心して御待ち遊ばせ」とすつかり受合ひ込んだ、如何に秀吉公が御不在とは云へ、淀殿も淀殿だが、其取持をしやうと云ふ二人の局、實に憎むべき女でムいます、さア夫れからと云ふものは大藏の局、饗庭の局と色々策略を運らして不破伴作を招かんと致したが、偖招くやうな機がない、何しろ謹愼の身の上ですから萬事に付て工合が惡いのは尤も、是はどうしても此聚樂の城中にあつては何も出來ないと云ふので、兩女は淀殿へ勸めて、私も病氣で困るからどうぞ八月より九月まで二ヶ月の間是非織田殿の別荘へ參つて養生を致したい、此儀特別の御情けを以て御許しに預りたいと云ふてとを、使を以て秀吉公へ願はせた、秀吉公は一時御立腹にはなつたものゝ、元より可愛くてならない淀殿よりの願ひだから深き巧みのある事とは夢にも御存知なく、宜しいと忽ち聽許しになつた、淀殿大いに喜んで早速加茂の社の傍らなる織田公の屋敷へ移られましたが、もう此時は大政所の方てはもう前の事に懲りて居るから三條の局を代參には出さぬ、出す時には五奉行の中一人を付けて出すと云ふやうな有樣ですから先づ此方には何事もムいませぬ、淀殿も今は三條の局をどうしやうなどと云ふ事を考へる暇はない、只もう不破伴作を招きたいの一心、其事にのみ心を苦しめて居りました、然るに秀次公の家老に白木豐後守に木村常陸介と云ふのがあり、取別け此木村常陸介は天晴の智者、此悴が有名の木村長門守重成でムいますから容易な人ではない、白木豐後守と云ふのは常陸介から見ると少し人物は落ちるが中々の勢力家でムいました、此豐後守の甥に當るのが例の不破伴作で、而して娘を白妙といつて是れは淀殿付になつて居る、夫れへ氣か付いたから大藏の局か淀殿へも申上げ、其白妙を以て白木豐後守に對して、今夜織田の別荘に於て月見の宴を開くから甥の不破伴作を伴ひ來るべき由を申入れさせました、豐後守も自分の娘が奉公して居る淀殿からの仰せだと云ふので早速承知を致し、直に秀次公の御前へ出て、甚だ恐入り候得共御近侍不破伴作を今日私へ御貸下されたいと言つて願ひますると、秀次公は眞逆に伴作を淀殿の所へ連れて往くとは思召さぬから「アヽ宜し〳〵何處へでも伴なつて參れ」と御許しになりましたから、豐後守も喜んで愈々伴作を織田公の屋敷へ同道することに相成りました。

雜報

●見合無しの結婚

（媒介は上村中將、花婿は旅順の勇士）

湊川神社の宮司なりし故折田年秀翁は勤王の士なり維新の後楠正成の忠烈を慕ひ湊川神社造營の議を建白し、傍ら舊藩主島津侯の援助を藉りて今の湊川神社を造營しその宮司となりしが楠公五百五十年の折には當地より刀鍛冶月山翁を招きて短刀を鍛はしめ上村海軍中將か神戸に來りて湊川神社を參拜せし時翁は彼の短刀を少佐に贈りて、我れは既に年老ひたりこれを御身に參らする、これにて御國の稜威を上げたまへと云ひしかば、中將も痛く翁の志に感じたるが日露戰役の初まる時東郷大將と携へて再び神戸へ下りしに、此時は年秀翁已に世を去りし後なりしかば中將は年秀翁の愛孫春子孃に會ひ翁が生前の物語に種々と深き舊懷の種多かりしが去るにても春子孃に天晴れ好き婿君を選び與へたしと心に止め置きけるが其後も部下の少壯士官中何人が春子孃の婿君として相應しからんと夫となく注意を拂ひ居たるに是ぞと思はれしは鹿兒島出身の海軍中尉功五級木下潔彦とて今年未だ三十に二歳足らぬ好個の青年なり中將は心に喜び密かに木下中尉の心を探りたるに、斯る名家の後を繼ぐことと如何で拒み申すべきとの返辭に、中將は更に已が知己なる神戸の大河平武二及び閉塞隊の時負傷せし本田海軍中佐の兩氏をして折田木下兩家の間を斡旋せしめ世にありふれたる見合は元より寫眞の交換だになさず、目出度く緣談調ひたれば神戸市下山手通五丁目なる大河平氏の宅にて華燭の典を擧ぐる事となりしかば、上村中將、本田中佐もこの目出度き祝筵に連なる筈なりとぞ、花婿は旅順攻擊の折海軍砲を引揚げし勇士、花嫁は本年三月神戸高等女學校を卒業せし名家の一粒種何れにしても目出度し

●五萬留を以て我子を買取る

浦鹽斯徳に一等商店を構へ居る商人メドウエーヂフなる者は同港を距る約十五露里許なるオケアンスカヤ停車場附近に別荘を所有し居り毎日曜又は祭日には一家擧て別荘に消光する例にて遂此程も同地に赴きしが同人唯一の相續者なるパーウエルと云へる今年十二歳の少年は豫て我家に雇ひ置たる支那人と共に散歩に出てたる儘兩人共歸宅せざるを以て兩親の心配一方ならず金錢を吝まずあらゆる手段を盡して搜索せしも杳として其消息を知る由なかりしに數日前メ氏の門口に淸國文を以てせる一枚の貼札あり其要旨に依れば『貴下の子供は五日間は安穩なり決して心配するを要せず若し此小供を是非共必要とするに於ては右の期日内に五萬留を以て賠償せよ但し現金を携へ來る際兵卒若くは巡査を同行するに於ては少年の生命は此世になきものと思考せよ交換の場所はバラバーシエなり』とありしにぞ愛子の爲には自己の生命も惜しからぬメ氏如何で金錢を惜まんや早速腹心の雇人に五萬留を携帶せしめてバラバーシエ村に特派し無事交換を終りたる後浦鹽警察署に如上の情況を屆出たりと云へるが該所爲は所謂紅髭子（フンフーザ）と稱する强賊等が多數の同類を使用し其實況を考察したる上にて實行したることにて同地方にては左まで珍らしき事にあらずと云ふ

●筒持たせの道行

大連の或町の薄暗き小路に盧月とポンヤリ記したる曖昧屋あり、其處には外に女は無くて内緣の妻か客を引張り込みて金を受取るや否や押入れから亭主が飛び出すと云ふ筒持たせの寸法なり斯る下等な奴等にも尚戀は有る者と見えて其妻去る頃より二三丁距りたる魚屋の源公と云ふイナセの哥兄に焦れ折りあらばと思ひける中或夜其門口を通りたるを無理に内へ招き入れたれば亭主は例の通りお客が來たと心得て押入れの中に隱れて妻の相圖を待ち居たり斯くて妻は語を潛めて實は斯く〳〵と日頃の思を搔き口說けば源公暫し思案して世間には往々筒持たせと云ふ事流行る由なれば滅多に其手には乘り難しと冠りを掉れば、然りとは若けれども流石は源さんなり成程例ならばアノ押入れから夫が飛び出す筈なれど今宵は貴方に逢ひたさに態と押入れに錠を下したれば亭主は牢に入つたも同然、アレ御覽と指させば源公偽なき其心底を見定めて偖ては安心と打解けて又重ねて來らんと云ふ其袖に縋りてモウ斯う成りたる上からは最早此家には居られぬ譯なれば何方へなりと連れて行かられよ左もなくば押入れ明けて夫に告げんかとノッピキならぬ言ひ方、源公是非に及ばず然らば是より旅順なる知己の所に一先づ落ち行かんか亭主が後にて其筋へ恐れ乍らと出掛くれば直にお繩を頂かねばならぬと稍躊躇へば其御心配は御無用妻は内緣の妻でも何でもなく矢張り誘拐も長い所は無いとて紙取出して覺束なくも金釘流に「長々御世話になりましたが唯今いとしい源樣と手に手をとりて道行を致します隨分お前も御達者て」と書き記して押入れの戸に貼り付け心静かに衣粧を纏めて二人ドロンと消え失せたり、亭主は斯くとも知らず押入れの中に大汗搔いて待てど暮せど相圖の音もせざれば内より開けて樣子を見んと戸を動せども容易に明かず、詮方なくて聲を立つれど少しも外へ聞えず漸々東の白む頃、戸を蹴破りて躍り出て書き置を見てジタバタ踏みて口惜しがりしも追付かず其れよりヤケ酒をアヲりて泣寢入りに寢入りたりと云ふ

●お役人の酒亂

當地牛家屯の或所に勤むるお役人某は平素は極めて眞面目なるにも拘はらず持つて生れた酒癖ありて往々しくじることあり現に一昨日の如きは去る料理店にてシタヽかきこしめし千鳥足にて歸宅せし迄は善かりしも其妻が出迎せぬとかにてグット癪に障り、これ僕を何と心得る苟もお前の旦那樣ぢや無いか此の無禮者とて鐵拳二三つを御見舞申したれば妻は餘りのことに少し口答へせしに、何をヌカすとイキなり床に飾り置きたる日本刀をヒラりと拔いて追ひ廻はしたり妻は驚いて裏口より素足にて驅け出し直に派出所に赴きて事の由を訴へしかば警官出張して取調べんとせしに某は刀を投け出し既にゴロりと横はりて鼾聲雷の如く今や華胥の夢を辿る最中なりしかば警官も覺えず噴き出して其儘引き上け、後にて某を呼出して說諭せしに覺めては元の勤直者、以後屹度注意しますとて恐れ入つて引退りたりと云ふ

●婦女誘拐の發覺

當地永世街天草館に止宿せる宮崎繁藏（三）及び猪口千八（三）の兩名は今年四月下旬熊本縣天草より冲津スマ（二八）西川ヨシノ（一七）金子キク（一八）塚盛ナル（二〇）の四人を騙して誘拐し來りて竊に客を取らせけるに此頃の不景氣の爲め餘り收入も無き故イッソ哈爾賓邊へ連れ行きて高價に賣り飛ばさんとて一昨夜右の四名を率ゐて牛家屯に到り八時半の列車に乘り込まんとする所を警官に認められ一寸待てとて取調べたるに旅行券も無く且つ四名の女の中立ても不揃にて怪しむべき點多ければ一同を領事館へ引渡したりと云ふ

●大學生の僞物

佐賀縣西松浦郡伊萬里町字新町梅太郎二男士族山崎常次（二三）は一定の職業無く諸所をウロツキて遂に韓國へ渡り工科大學生と詐稱して京釜鐵道を只乘し夫れより滿洲に入り安東縣喜久旅館に泊りて宿料を踏み倒し鳳凰城に出て同守備隊長を欺きて金五圓を借受け尙草河口守備隊長を訪問し又もや例の手にて金品を詐取せんとしたりしが遂に其筋の手に差押へられたりとは太い奴なりと云ふべし

●各飲食店主へ諭告

從來當地の各飲食店にして婦女を抱へ置き不法行爲を敢てするもの多く風紀取締上甚だ不都合に就き昨日各飲食店主を領事館警察部へ召喚し爾來一切斯かる行爲に出づるを嚴禁し萬一之を犯す者は相當の處分せらるべき旨を諭達したりと

●店員の脚氣病

當地牛家屯九十洋行の店員近藤博雁（二六）は脚氣病に罹りて大部重症に陷りたれば一昨日同仁病院に入院せんとて車に乘りて來れるに動搖甚しき爲急に衝心を起して車上より轉げ落ちたり折柄通行中の橋本警部之を見て懇切に介抱し直に新市街なる警察出張所へ連れ行き醫師を迎へて應急手當を施したる上、同病院へ送り屆けたりと云ふ

●死亡者の引取人なし

當地舊市街の元松尾洋行の店員横山貞記は病氣にて同仁病院に入院中の處昨日死去したるも右洋行は既に當地引揚後にて尙別に同人の身寄りも無ければ死骸の引取人なく其處置に苦しみ居れりと云ふ

●秋蒔草花種子の無代配布

例年の如く岡山縣邑久郡長船農試驗場草花部にて配布する西洋新草花の花名は左記の二十種にして送費袋代として郵券十錢を送る者には何人にも進呈すべしと云ふ

舶來冬咲朝顏、仝黑花スミレ、
仝白花撫子、仝佛國の小菊、
仝獨乙罌粟、仝米國の罌粟、
仝滿洲の罌粟、仝米國大輪パンジー
仝金剛石花、仝ワスレナ草、
仝ネモフヰラ、仝最大輪ペチユニヤ
仝矮生松虫草、仝ニシエレダマシーナ
仝ゴテシヤ、仝カンパニユムラ
仝優等大輪翠菊、仝蘭國菊サンセマム
仝麝香葵、仝大花シレネペンジユラ

滿洲の塵

▲安東　安東タイムス社の主催に係る美人投票の〆切前二日の得點は左の如し、四万二千七百七點（新義州手合小鈴）三万六十點（九小々丸）三万十五點（富貴樓豆子）二万八千八百七十六點（朝日樓菊太郎）二万二百七十三點（由良之助力彌）▲大連　奧町二丁目千長錢か納稅金として民政署に持參したる五十錢日本銀貨中より一枚の僞造あるを發見せり其鑄造頗る精巧なりと云ふ▲遼陽　居留民會元理事栃木村太郎は拘引され次いで奉天總領事館に護送されたり詐欺取財及び公金費消の嫌疑なりと云ふ▲奉天　十間房第三區警第二號平尾兼藏（十年生）は門表を揭げざるのみならず其筋よりの再度の喚出に應ぜざりしにより兩件の科料一圓五十錢つゝに處せられ十間房第三區第五號松尾方磯野甚三郎（十二年生）は居住屆を怠りたるに由り科料一圓に處せられ十間房警第三十四號井ノ口スエ（八年生）は上衣を着せず裸體にて街路を通行せしにより科料一圓に處せらる

投書かご

▲身には錦衣を纏ひ口には多少理屈をひねくるが心情に立ち至らば其鄙劣なることをお話以外之が當今紳士の常型であるとは情ない（慷慨生）▲滿洲女は一概に莫連といふが中には隨分悲慘な歷史を持つて居て多少同情を寄すべき可憐な者が居るよ（鼻下三）▲立つや秋霜寢する夜の簷下より（鐵嶺とろ〳〵）▲操ちやんに「秋が立つか」歸つて來なと筆も優しい女郎花（御存じより）▲二本町眞猫て一番可愛らしいのが春子で大きな放屁をする事も一番（飛され客）▲二日からの營口座の落語は喜代八老裙の受元なる由なれば序に手遊とお駒の踊皮稲子の演說をも加へては如何屹度大入りなる事請合々々（忠告生）▲昨年は入券の無い者は余興をも見られぬとて不參の者が多かつた之は誤解だから今年はドシ〳〵誰ても關はず行つて見給へ（遼陽邦人）▲大連の人民は不日金を集めて滿鐵明神と云ふ一社を建立するそうだ（莫迦生）▲衛生も不行屆なり道路の取締も放任、支那人の露店もお構ひなし夫に引換へ邦人の素足を見れば直ちに引捕へて處罰す、敢て問ふ彼に寬にして我に嚴なるが即ち天野式たる所以か（鐵嶺浪人）▲不景氣な鐵嶺眠るが如き鐵嶺稍活氣あるは製粉會社の建築工事と商品陳列館の新築と松茂の煉瓦事業のみ（新參者）▲僕の馴女が側に居ぬのに氣が付いて邊を見れば隣の座敷でチヤンと差向いだから飛込でよく見ると支那語の先生だつたには驚いた（一目散）▲德芳紙烟發售山崎商會は支那通ほどあつて廣告の趣向や總ての點が面白い（奉天實業家）

廣告料値上廣告

今般本報廣告料淸歷八月一日より左の通り値上候間此段廣告致候也

五號活字一行一字詰一回四十錢

奉天　盛京時報館

爲替相場（八月卅一日）

正金銀行一覽拂（百圓ニ付）

內地	一〇三圓二分ノ一	上海	七一兩
天津	一〇三圓四分ノ三	芝罘	一〇四圓四分ノ一
滙塊相場	三十一片十二分ノ一		

本埠通貨相場

正隆銀行

	受	拂
銀貨百圓ニ付軍票	八七圓四〇	八九圓〇〇
金貨「ルーブル」ト軍票	九六圓一〇	九七圓七〇
墨銀ト軍票	九七圓五〇	九九圓〇〇
	一〇二圓九〇	一〇四圓五〇

特別廣告

牛莊郵便局爲替貯金
金銀受拂相場

九月一日ヨリ九月七日迄

軍票又ハ圓銀壹圓ニ付
本邦通貨　金壹圓〇參錢貳厘

電話問合ヲ謝絶ス

營口出帆廣告

日本郵船會社瀛船出帆

●芝罘丸（九月六日午前十一時出帆大沽芝罘門司神戸行）御乗客は午前九時迄に御乗込相成度候
●酒田丸（九月九日午後三時出帆大連門司神戸四日市横濱行）
●長門丸（九月十二日午前出帆大沽芝罘長崎門司神戸行）
●高砂丸（九月二十日午前出帆大連門司神戸横濱行）
御乗客正午十二迄に御乗込相成度候
乗船切符發賣ハ出帆前三時間迄（未明出港ノ分ハ前日午後五時迄）
營口代理店　旗昌洋行（電話二六番）

瀛船營口出帆

●摩耶山丸（營口大阪間定期）九月五日入港
●頼朝丸　九月一日龍岩浦行
●千珠丸
●音羽丸（營口長崎間定期）九月三日入港豫定
●御代丸
松茂洋行　電話（五二、五七）

瀛船出帆廣告

●萬成源丸　九月二日芝罘より入港
●喜多丸　九月一日門司行
代理店　東和公司（電話四一〇番）

大連出帆廣告

日本郵船會社瀛船出帆

●薩摩丸　九月四日正午長崎行
●横濱丸　九日午前十一時門司宇品神戸行
大棧橋ヨリ發船可致候（電話二一〇番）
日本郵船株式會社大連出張所

大阪商船會社瀛船出帆

●大義丸　九月三日正午門司神戸大阪行
●開城丸　九月三日正午門司神戸大阪行
●鐵嶺丸　九月十日正午門司神戸大阪行
●信濃川丸　九月八日午後五時仁川長崎行
大棧橋ヨリ發船可仕候（電話二三〇番）
大阪商船株式會社大連出張所

資本金貳千四百萬圓　積立金千四百五拾五萬圓
本店　横濱　支店出張所　神戸　東京　長崎　大阪　倫敦　里昂　紐育　桑港　布哇　孟買　香港　上海　漢口　天津　北京　大連　旅順　奉天　遼陽　芝罘　鐵嶺　安東縣　長春（寛城子）
（電話十番支配人室）（百八番事務室）
横濱正金銀行牛莊支店

正隆銀行
營口元神廟街　電話　支配人室三四一　事務室二二〇

隆記洋行
總經理人　深水□八
西分店　西營口老爺閣東小紅樓西南隅　電話四

森病院
營口永世街（電話一五五）
内外科　産婦人科　齒科（入院随時）
院長　森矯

祝大連市開港一周年
九月一日
大連市　會席御料理　**千勝館**
電話二百四十六番

廣告
謹啓殘暑難凌候處内外辱知各位愈々御健勝奉慶賀候降而小生去る卅五年以來滿洲在任中は公私共御懇誼を忝し御厚情難有奉感謝候今回辭職聽許を蒙り候に付歸東仕候一々拜趨御挨拶可申上筈に候得共或は缺禮可仕此儀不悪御仁恕奉願上候尚は今後不相變御厚誼の程偏に奉懇願候先は右乍略儀以紙上御暇乞申上度如斯御座候頓首
九月　日
公主嶺警務署長警視　法學士　**鶴岡永太郎**
東京市京橋區新富町假寓

内外化粧品卸部
忠泰洋行　大連市磐城町一六二
丸越呉服店　大連市磐城町三八
呉服太物小賣部

東京　**旭金庫**
大連市信濃町
滿洲一手販賣　**山葉洋行**
大連市但馬町三十一號地　**東陽商會**

和洋　**諸紙卸商**
大連市伊勢町四二号地
渡邊大連支店

蚊張
ヘルメット帽　〇パナマ帽　〇靴　〇カバン
花莚　〇新荷着大割引販賣
大連奥町二丁目常盤公園前　金大登洋行

和洋完備　**遼東ホテル**
大連市信濃町
電話壹參壹

移轉廣告
弊店今般新市街元東肥洋行跡へ移轉致し同時に右移轉準備の爲め休業致居候倉庫業も實業町弊店木材倉庫内に改築成り從來の通り開業致候間倍舊御愛顧の程願上候
平岡組
改電話一一七（住宅）
全　二六〇（倉庫）

大連　移轉　初瀬
滿洲向　長短各種　防寒用

無比堅牢
市内御注文の節は御電話にて御申付被下候はゞ早速見本持參可仕候
大連市伊勢町一丁目　電話一六三
旅順乃木町一丁目
初瀬靴店

いぼじ　**痔核**　苦痛なく一二回の注射にて全治す
新　**梅毒。婦人科**
廣　**外科。胃腸病**
法　**專門**
日本醫院　營口永世街（電二二七番）（入院随意）

津輕檜大角　八尺ヨリ卅二尺迄
仙臺松大角　十七尺より廿五尺迄
各種
外檜大丸太、板、小丸太各種
各種
營口新市街東青堆子河岸　**淡谷木局**（電話二百七十九番）

一般患者ノ診療ニ應ス
往診　入院　随意
院長醫學士松井甚四郎
新市街寶來街
營口同仁醫院
電話番號七八

内外科　産婦人科
入院随時　産婆派遣
永世街輕鐵停車場西角（電話二八）
院長　横山春樹
産婆　永田リウ
横山醫院

旅館　大和館
永世街三十四號（電話一一二番）
店主　前田九一郎

純良醫藥　工業藥品　著名賣藥　醫料器械
卸小賣
營口永世街
東瀛大藥房
電話一四八番　振替貯金七〇一番
分店（營口新市街本町一丁目）（營口永世街（通順泰東））

雜貨各種　彩票各種
營口永世街
裕和盛
電話八一
鐵道貨物運送

◎御知らせ
消火器　衣桁
ステッキ　旅行鞄
美術品　油繪額
撃劍道具
バイオリン
シャンペンジャム
バタ　その他
新荷いろ〳〵
着致しました
營口新市街
加藤洋行
電話八十番

高等旅館
松華ホテル
鐵嶺西門外火神廟

御料理　日本館　營口新市街花園町
御旅館　日本館　營口新市街千代街
電話百三十番

風月堂菓子
デセール
フインガ
ハヒリヨウ
サブレ
羊羹
宇治の花
玉露
右新着仕り候
營口永世街
三友洋行
電話一五四

土木建築業
並ニ煉瓦石灰販賣
營口新市街
加州組
電話四四

煉瓦石各種廉價販賣
永久的土木建築ニ御使用ノ煉瓦石ハ霜雨ノ爲メ崩解セザル耐力強靱吸水量僅少ナル者御購求被遊方御徳用ニ候
販賣所
營口牛家屯（電話二四二）
營口元神廟街（電話一三五）
營口煉瓦製造所
泰東公司

土木、建築、測量、圖案
●炭、石材、●灰、煉瓦
今般新ニ熟練ノ技師數名ヲ招聘シ測量設計圖案等一般ノ高需ニ應シ可申候
營口新市街　**飯塚工程局**（電話一六五）
全　**鐵嶺出張所**　鐵嶺西門外
全　**奉天出張所**　奉天小西門外
全　**大連出張所**　大連市信濃町二十號地（電話一六二）

新杵製洋菓子、鏡臺、東京製洋服入鞄、巻鞄、新柄毛布〆二ツ折三ツ折手形入鞄、皮、羅紗防水布製ゲイトル、洋燈、蠟燭立象皮カラ入、寫眞帳

御客様之御氣に召す時候向の品々便船ごとに多々入荷有之候何卒御來店御買上あらんことを

振替貯金口座壹萬百九十番
電話二十番
營口新市街
盛進商行

盛暑の砌何茂様愈々御清祥に被爲在奉敬賀候降て弊館儀開業以來日尚淺きに不拘日増に繁榮仕候段是れ偏に各位の御引立の致す所と只管感謝に不堪候此上は猶一層奮勵百事改進を怠らず御宿泊料の如きは他店に比し殊に勉強純粋の旅館として飽迄高評に負かざる事を期し候間何卒特別の御贔屓伏て希上候敬白
尚大石橋驛御乗換等には從來の通り出張店員萬事御幹旋御便利取計らひ居り候間併せて御承知置願上候
專業御旅館
營口新市街南本町
清林館
電話參百壹番

建築用諸金物
鐵道用ビーダ
鶴嘴ショベル
石工煉瓦左官ブ
亞鉛板洋釘
亞鉛線スコップ
ボールト及カスガイ
鐵工鍛工具
新式獵銃及附屬品
新式拳銃各種
塗込暖室爐各種
金庫カン〳〵各種
寶圓洋行
營口永世街
電話三二壹番
ハンドボール
土工及鑛山工具
大工道具諸金物
一分間湯沸器
アサヒビール
カーネションクリーム
各様雅扇發賣
ジョレン鋤鍬

木材　薪炭　板硝子
營口永世街
日陽商會
電話三一九番